

取扱説明書

EH-LS10000

Home Projector



Δ

各説明書の使い方

本機の説明書は次の通り構成されています。

安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内

本機を安全にお使いいただくための注意事項とサポート・サービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。使い始める前に、必ずご覧ください。

取扱説明書(本書)

本機を使い始めるまでの準備や基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったとき の対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

3Dメガネ 取扱説明書

3Dメガネの取り扱い方法や注意などについて記載しています。







○ 説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および本機には、本機を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産 への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。 その表示と意味は次の通りです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

🕂 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を 示しています。

<u> î</u>注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

注意

本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。

	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項やより詳しい説明を記載しているページを示しています。
[メニュー名]	環境設定メニューの項目を示しています。
	例:[画質] - [カラーモード]
ボタン名	リモコンまたは操作パネルのボタンを示しています。
	例: <i>Menu</i> ボタン

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品やオプション品も含まれる場合があります。

] 同梱品の確認

下記をご覧になり、同梱品を確認してください。 万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

プロジェクター本体



リモコン 🖝 p.13



単3形マンガン乾電池(2本) 🖝 p.25





3Dメガネ (ELPGS03) 一式 🖝 p.39

3Dメガネの同梱品は、3Dメガネの 取扱説明書を参照してください。

USB充電AC電源アダプター(ELPACO1) ● p.39

(3Dメガネ充電用)





HDMIケーブルクランプ(2個) 🖝 p.21

説明書 ← p.1 保証書







説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方	1
説明書中の表示の意味	2
安全に関する表示	2
一般情報に関する表示	2
「本機」または「本プロジェクター」という 表記について	2
同梱品の確認	З

使い始めるまでの準備

各部の名称と働き	. 7
前面/上面	7
背面	8
インターフェース	9
底面	. 10
操作パネル	. 11
リモコン	. 13
設置	16
設置時の注意	. 16
設置方法	. 17
棚などに置いて投写する	. 17
天吊りして投写する	. 17
投写距離とレンズシフトの最大値	. 18
機器の接続	20
ケーブルカバーの取り外し	. 20
映像機器との接続	. 21
HDMI出力端子のある機器	. 21
ビデオ出力端子のある機器	. 21
コンポーネントビデオ出力端子のある機 器	21
コンピューターとの接続	. 22
RGB出力端子のあるコンピューター	
	. 22
HDMI出力端子のあるコンピューター	22
	23
Trigger out 1/Trigger out 2端子の接	. 20
続	. 23
LAN端子の接続	. 23

ケーブルクランプにケーブルをまとめる

				24
				25
				25
範囲				25
(左右)				25
(上下)				25
	······ 範囲 · · · (左右) (上下)	範囲	範囲	範囲

基本操作

電源の入れ方と終了	26
電源の入れ方	. 26
電源の切り方	. 27
環境設定メニューの操作	28
投写画面の調整	29
テストパターン表示	. 29
本機の傾きの調整	. 29
レンズ調整機能(フォーカス、ズーム、レ ンズシフト)	. 29
ピント調整(フォーカス調整)	. 30
投写サイズの調整(ズーム調整)	. 31
投与映像の位置調整(レンズシフト)	. 31
台形補正	. 32
入力ソースの切り替え	. 32
アスペクト	. 33
映像を一時的に消す	. 34
3D映像を見る	35
3D映像視聴に関する注意	. 35
3D映像の投写	. 38
本機が3Dフォーマットを判別できるとき	. 38
本機が3Dフォーマットを判別できないとき	. 38
ー 映像が3Dで見えないときは	. 38
3Dメガネの準備	. 39
3Dメガネを充電する	. 39
3Dメガネをペアリングする	. 40
3Dメガネの装着と視聴	. 40
3D映像を見る範囲	. 41
2D映像を3D映像に変換して見る	. 41

<u>画質設定</u>

基本設定	43
カラーモード	. 43
Super-resolution/4K Enhancement	
	. 44
ディテール強調	. 46
ダイナミックコントラスト	. 46
フレーム補間	. 47
こだわりの画質調整	48
色相·彩度·明度	. 48
ガンマ	. 49
補正値を選んで調整する	. 49
映像を見ながら調整する	. 49
ガンマ調整グラフで調整する	. 50
RGB(オフセット・ゲイン)	. 50
色温度	. 50
肌の色調整	. 51
シャープネス	. 51
レンズアイリス	. 52
液晶アライメント	. 53
映像処理	. 54
カラーガマット	. 55

<u>便利な機能</u>

HDMIリンク 5	6
HDMIリンク機能 5	56
HDMIリンク設定 5	56
接続機器の選択 5	57
レンズポジション機能5	8
レンズポジションの登録 5	58
レンズポジションの呼び出し 5	58
レンズポジションの削除 5	59
レンズポジション名称変更 5	59
メモリー機能 6	0
登録できる設定 6	30
メモリーの登録 6	30
メモリーの呼び出し 6	31
メモリーの削除 6	31

メモリー名称変更	61
Picture in Picture	63
同時に表示できる画面の種類	63
Picture in Pictureの開始と終了	63
Picture in Pictureの設定	64
ネットワークを使った操作や設定	
	65
Webブラウザーで設定・操作	65
プロジェクターの設定の変更(Web制 御)	65
プロジェクターの操作(Web Remote)	

				 	67
メール通	知機能で	異常を通知	0	 	69
異常通	風メール	の見方		 	69

環境設定メニュー

環境設定メニューの機能	70
環境設定メニュー一覧	70
画質メニュー	70
映像メニュー	72
設定メニュー	75
メモリーメニュー	79
ネットワークメニュー	80
情報メニュー	83
初期化メニュー	84
Picture in Picture設定メニュー	84

困ったときに

故障かなと思ったら 8	35
インジケーターの見方 8	35
異常/警告時のインジケーターの状態	35
正常動作時のインジケーターの状態8	37
インジケーターを確認してもわからないと	
き	38
現象の確認 8	38
映像に関するトラブル 8	39
投写開始時のトラブル	93
リモコンでのトラブル	93
操作パネルのトラブル	93
3D映像でのトラブル S	94
HDMIのトラブル	94

<u>メンテナンス</u>

お手入れの方法	96
各部の掃除	96
エアフィルターの掃除と交換	96
本体の掃除	98
3Dメガネの掃除	98

<u>付録</u>

オプション・消耗品一覧	. 99
オプション品	99
消耗品	99
対応解像度一覧	100
HDMI1/HDMI2入力信号	. 100
コンポーネントビデオ	. 100
コンポジットビデオ	100
コンピューター映像(アナログRGB)	. 101
3D入力信号	101
輸送時のご注意	102
近くへの移動	. 102
輸送する場合	. 102
梱包の準備	102
梱包と輸送の注意	102
仕様一覧	103
外形寸法図	105
用語解説	106
一般のご注意	107
レーザー光源機器使用上の注意事項	108
レーザー光路図	. 109
3Dメガネ使用上の注意事項	109
商標について	. 110

○ 各部の名称と働き

前面/上面



	名称	機能				
1	インジケーター	本機の状態を色や点灯・点滅で示します。 🖝 p.11				
2	操作パネル	▶体側面にある格納式の操作パネルです。 🖝 p.11				
3	フロントフット	置いて投写するときに、水平方向の傾きを調整します。 🖝 p.29				
4	投写レンズ	ここから映像を投写します。また、ここからレーザー光を照射します。				
		▲ 警告				
		投写中はレンズをのぞかないでください。また、光学機器(ルーペや望 遠鏡など)を使用してレンズをのぞかないでください。				
5	レンズシャッター	本機の電源オン/オフに連動して自動的に開閉します。 🖝 p.26				
6	排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。				
		▲ 注意 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。				

背面



	名称	機能
1	リモコン受光部	リモコン信号を受光します。 🖝 p.25
2	インターフェースパネル	接続端子などが設置されています。 🖝 p.9
3	ケーブルクランプ	ケーブルをまとめます。 🖝 p.24
4	セキュリティースロット(位)	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに 対応したセキュリティースロットです。詳細は、Kensingtonの ホームページhttp://www.kensington.com/でご確認ください。
5	ケーブルカバー固定ネジ穴	ケーブルカバーを固定するためのネジ穴です。 🖝 p.20
6	吸気口/エアフィルターカバー	本機内部を冷却するための空気の吸い込み口です。 エアフィルターの掃除や交換時にこのカバーを開けてエアフィル ターを取り出します。 🖝 p.96

インターフェース



	名称	機能
1	HDMI1/HDMI2入力端子	HDMIに対応した映像機器やコンピューターを接続します。 ● p.21
		HDMI1入力端子は、HDCP 2.2に対応しています。
2	ケーブルホルダー	同梱のHDMIケーブルクランプをはめ込むところです。外径の太い HDMIケーブルなどは、ケーブルの重さでコネクターが抜けやすく なることがあるため、HDMIケーブルクランプでケーブルを固定し ます。 ☞ p.21、 p.22
3	LAN端子	LANケーブルを接続して、ネットワークに接続します。 🖝 p.23
4	Service端子	サービス端子で、通常は使用しません。
5	RS-232C端子	本機を制御するときに、RS-232Cケーブルでコンピューターと接続します。制御用の端子で、通常は使用しません。
6	PC入力端子	コンピューターのRGB出力端子と接続します。 🖝 p.22
7	Component入力端子	映像機器のコンポーネント (YCbCrやYPbPr) 出力端子と接続します。 ☞ p.21
8	Trigger out 1/Trigger out 2端子	電動スクリーンなどの外部機器に接続します。 ☞ p.23
9	Video入力端子	映像機器のコンポジットビデオ出力端子と接続します。 🖝 p.21

底面



	名称	機能
1	アナモフィックレン ズ用ネジ穴	アナモフィックレンズを取り付けるためのネジ穴です。
2	フロントフット	置いて投写するときに、水平方向の傾きを調整します。 🖝 p.29
3		
4	天吊固定部(4箇所)	天井から吊り下げて使うとき、天吊り金具を取り付けます。
5	電源端子	電源コードを接続します。 ☞ p.26

操作パネル



オ	、タン/インジケーター	機能
1		内部が高温になるとオレンジ色に点滅します。他のインジケーターとの 組み合わせで本機に発生した異常を点灯・点滅で示します。 🖝 p.85
2	─*	レーザー光源部に異常が発生するとオレンジ色に点灯します。他のイン ジケーターとの組み合わせで本機に発生した異常を点灯・点滅で示しま す。 🖝 p.85
3		ウォームアップ中、クールダウン中を点滅で示します。他のインジケー ターとの組み合わせで本機の状態を点灯・点滅で示します。 🖝 p.85
4	<u>ل</u> ب	プロジェクターに電源が供給されているときに点灯します。他のインジケーターとの組み合わせで本機に発生した異常を点灯・点滅で示します。 ☞ p.85
5	ل	プロジェクターの電源をオン/オフします。 🖝 p.26
6	Source	各入力端子からの映像に切り替えます。 🖝 p.32
7	Lens	電動レンズ機能の調整項目を切り替えます。 調整項目は以下の通りです。
		• フォーカス ☞ p.30
		• ズーム ☞ p.31
		• レンズシフト ☞ p.31

ボタン/インジケーター			機能
8	B Menu		環境設定メニューを表示/終了します。 ● p.28 環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定ができ ます。 ● p.70
9			上下左右に倒すと、メニュー項目の調整値を選択します。 🖝 p.28 映像を投写中に上下に倒すと、台形ゆがみを補正します。 🖝 p.32
			メニューの表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みま す。 🖝 p.28
10	O Esc		メニューの表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 🖝 p.28

リモコン

上段のボタン



ボタン		機能
1	On	プロジェクターの電源を入れます。 🖝 p.26
2	Standby	プロジェクターの電源を切ります。 🖝 p.27
3		リモコン上のボタンが約10秒間光ります。暗がりでリモコンを操作する ときに便利です。
4	Blank	映像を一時的に消す/映すを切り替えます。 ☞ p.34 環境設定メニュー表示中は、メニューを一時的に消し、画面右上に 🔍 を表示します。
5	P-in-P	Picture in Pictureの開始と終了を切り替えます。 🖝 p.63
6	HDMI 1 HDMI 2 Component Video PC	各入力端子からの映像に切り替えます。
7	 < 	HDMI CEC規格に対応した接続機器の再生、停止などを操作します。 ● p.56



中段のボタン



	ボタン	機能
10	Lens	電動レンズ機能の調整項目を切り替えます。 調整項目は以下の通りです。
		• フォーカス ☞ p.30
		● ズーム ☞ p.31
		• DJX9JF • p.31
11	Color Mode	[カラーモード] を切り替えます。 🖝 p.43
12	2D/3D	2D映像と3D映像を切り替えます。 ☞ p.38
13		メニュー項目や調整値を選択します。 🖝 p.28
	\sim	
14	Enter	メニューの表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みま す。 🖝 p.28
15	Default	メニューの調整画面が表示されているときに押すと、調整値が初期値に 戻ります。 🖝 p.28
16	Menu	環境設定メニューを表示/終了します。 ● p.28 環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定ができ
		ます。 ● p.28
17	Esc	メニューの表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 🖝 p.28

下段のボタン



	ボタン	機能
18	Memory	メモリーの登録・呼び出し・削除・名称変更をします。 🖝 p.60
19	Lens1 Lens2	登録されているレンズポジションを呼び出します。 🖝 p.58
20	3D format	3Dフォーマットを変更します。 p.38
21	Frame Int	フレームを補間することで、素早い動きでのぎこちなさを少なくし、滑らかでくっきりした映像に調整します。 ☞ p.47
22	Sup Res/4K	エッジ部分などのボケを低減する [Super-resolution]、さらに高精細な映像を表現する [4K Enhancement] を設定します。
23	Dyn CR	[ダイナミックコントラスト]を設定します。 🖝 p.46
24	Aspect	入力信号に応じてアスペクトモードを選択します。 🖝 p.33
25	Pattern	テストパターンを表示/終了します。 🖝 p.29
26	Lens Iris	[レンズアイリス] で、絞りの調節によりレンズに入る光量を調整し、映像のコントラストを調整します。
27	RGBCMY	RGBCMYの各色に対して色相、彩度、明度を調整します。 🖝 p.48
28	User	ユーザーボタンに割り当てた機能を実行します。 🖝 p.75



設置時の注意



天吊り設置について

- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われない と、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。
- 本機を縦置き状態にして投写しないでください。故障の原因となります。
- 湿気やホコリの多い場所・油煙やたばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。

🕂 警告

クラス2レーザー製品について

- 投写中はレンズをのぞかないでください。また、光学機器(ルーペや望遠鏡など)を使用してレンズをのぞかないでください。
- 小さなお子様には操作させないでください。操作する可能性がある場合は、必ず保護者が同伴してください。

<u> î</u>注意

- 本機は重いので、持ち上げるときは落としてけがをしないよう注意してください。
- 棚などに設置するときは、ワイヤーで固定するなど落下防止の措置をしてください。落下によりけがの原因となることがあります。

注意

- 本機を持ち上げるときは、操作パネルを閉じてください。
- 操作パネル部に無理な力を加えないでください。故障の原因となることがあります。
- 吸気口と壁の間は20cm以上空けてください。



 ・ 定期的にエアフィルターを掃除することをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より 短い周期で掃除をしてください。
 ● p.96

設置方法

設置には、棚などに置く、天吊りするなどの方法があります。また、レンズシフト機能を使うことで、設置する場所についてより柔軟に対応できます。 ← p.31

棚などに置いて投写する

リビングにあるAVラックや棚などに設置して投写し、映像を楽しむことができます。



■ 天吊りして投写する

天吊り設置して投写し、本格的なシアタールームの雰囲気で楽しむことができます。



天吊りにして投写する場合は、[設置モード]を天吊りの設定に変更します。 ● [設定] - [設 置モード] p.75

投写距離とレンズシフトの最大値

本機をスクリーンから離すほど、投写画面は大きくなります。次の表を参考にして、最適なサイズで 投写できる位置に、本機を設置してください。値は目安です。

また、本機はレンズシフトで映像を投写する位置を調整できます。 🖝 p.31

レンズシフトによる調整の最大値は次の表の通りです。

レンズシフトで上下に投写位置を調整する場合



- A : レンズの中心から投写画面下端までの距離(レンズシフトを上に最大にした場合)
- B : レンズの中心から投写画面下端までの距離(レンズシフトを下に最大にした場合)
- E : プロジェクターからスクリーンまでの投写距離
- F : 投写画面のサイズ

レンズシフトで左右に投写位置を調整する場合



- C : プロジェクター移動時のレンズ中心の移動距離(レンズシフトを右に最大にした場合)
- D : プロジェクター移動時のレンズ中心の移動距離(レンズシフトを左に最大にした場合)
- E : プロジェクターからスクリーンまでの投写距離
- F : 投写画面のサイズ

単位:cm

16:9 投写画面サイズ		投写距離(E)		レンズシフトの最大値※		
F	WxH	最短 (Wide)	最長 (Tele)	距離 (A)	距離 (B)	距離 (C、D)
40型	89 x 50	111	240	20	70	35
60型	130 x 75	169	361	30	105	53
80型	180 x 100	226	482	40	139	71
100型	220 x 120	283	604	50	174	89
120型	270 x 150	341	725	60	209	106
150型	330 x 190	427	908	75	262	133
180型	440 x 250	513	1090	90	314	159

4:3 投写画面サイズ		投写距	離 (E)	レンズシフトの最大値※		と値※
F	W×Η	最短 (Wide)	最長 (Tele)	距離 (A)	距離 (B)	距離 (C、D)
40型	81 x 61	137	294	24	85	43
60型	120 x 90	207	443	37	128	65
80型	160 x 120	277	591	49	171	87
100型	200 x 150	348	740	61	213	108
120型	240 x 180	418	889	73	256	130
150型	300 x 230	523	1112	91	320	163
200型	410 x 300	699	1483	122	427	217

※映像の位置を、上下、左右の両方へ同時に最大値まで移動することはできません。 ● p.31

▶ 機器の接続

注意

- 接続機器のケーブルを本機に接続したあとに、本機の電源コードを接続してください。
- ケーブルのコネクター形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと機器の破損や故障の原因になります。

ケーブルカバーの取り外し

本機は、背面をすっきり見せるためにケーブルカバーが付いています。機器とケーブルで接続したり、エアフィルターを交換したりするときは外してください。



2 上側のミゾからケーブルカバーを外します。



ケーブルカバーの取り付けは、外し方とは逆の手順で行います。

W

Service

映像機器との接続

ブルーレイディスクプレイヤーやビデオレコーダーなどの映像を投写するには、次の方法で接続します。

- ・映像機器によっては、出力の種類が複数ある場合があります。出力の種類については、お使いの映像機器に同梱の取扱説明書で確認してください。
 - 本機はスピーカーを内蔵していません。接続機器の音声を聞く場合は、お手持ちのAVアンプ などに接続してください。

|HDMI出力端子のある機器



HDMIケーブルの重さでケーブルが抜けないように、同梱のHDMIケーブルクランプでケーブルホル ダーに固定してください。



- HDCP 2.2で保護された映像を投写する場合は、HDMI1入力端子に接続してください。

ビデオ出力端子のある機器



▌ コンポーネントビデオ出力端子のある機器





コンピューターとの接続

コンピューターの映像を投写するには、次の方法で接続します。

| RGB出力端子のあるコンピューター



HDMI出力端子のあるコンピューター





HDMIケーブルの重さでケーブルが抜けないように、同梱のHDMIケーブルクランプでケーブルホル ダーに固定してください。



HDCP 2.2で保護された映像を投写する場合は、HDMI1入力端子に接続してください。

外部機器との接続

| Trigger out 1/Trigger out 2端子の接続

電動スクリーンなどの外部機器に3.5mm ミニジャックで接続します。

電動スクリーンなどの外部機器に本機の電源の状態(オン/オフ)などを伝えるため、電源が入っている間、この端子から信号(DC12V)が出力されます。



- Trigger out 1/Trigger out 2端子を使う場合は、トリガーアウト1/トリガーアウト2を設定し てください。 ← [設定] - [動作設定] - [トリガーアウト1] / [トリガーアウト2] p.75

LAN端子の接続

WWW

WWW

ネットワークルーターやハブなどに100BASE-TXまたは10BASE-TタイプのLANケーブルで接続します。

ネットワーク経由で、コンピューターやスマートデバイスからプロジェクターを操作したり、状態 を確認したりできます。



● 誤作動防止のために、LANケーブルはカテゴリー5以上のシールド付きをお使いください。
 ● ネットワークを利用した映像の投写はできません。

ケーブルクランプにケーブルをまとめる

本機に接続したケーブルは、ケーブルクランプでまとめてください。



0

うカチッと音がするまでツメを押し込みます。

ケーブルクランプを閉じます。





電源の入れ方

🕂 警告

- 小さなお子様には操作させないでください。操作する可能性がある場合は、必ず保護者が同伴してください。
- 投写中はレンズをのぞかないでください。また、光学機器(ルーペや望遠鏡など)を使用してレンズをのぞかないでください。強い光で目を傷め、視力障害の原因となります。小さなお子様のいるご家庭では特に注意してください。
- 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れる場合、レンズをのぞいている人がいないこと を確認してください。



[動作設定] - [高地モード] p.75



🖸 環境設定メニューの操作

環境設定メニューを使って映像や画質の調整や設定をします。

- 明るさなど調整バーで調整する項目は、調整画面が表示されているときに Marking ボタンを押すと 調整値が初期値に戻ります。
 - 環境設定メニューは、操作パネルから操作することもできます。



○ 投写画面の調整

テストパターン表示

テストパターンは、設置直後、ズーム・フォーカス調整や投写位置の調整をするときに使います。 リモコンの Pattern ボタンを押すと、テストパターンが表示されます。





表示位置調整用のパターンのほかに、R(赤)、G(緑)、B(青)を個別に表示するパターンも選択 できます。映像信号を入力した状態で色調整をするときのパターンとして使用できます。

テストパターン表示を終了するには [Esc] ボタンを押すか、 [表示終了] を選択します。

本機の傾きの調整

棚などに設置したときに投写画面が水平方向に傾いている場合(左右で高さが違う場合)は、フロン トフットで本機が水平になるように調整します。



レンズ調整機能(フォーカス、ズーム、レンズシフト)

フォーカス、ズーム、レンズシフトを調整するには、リモコンまたは操作パネルの Lens ボタンを押して調整項目を切り替えながら選択します。



調整項目は次の表の順に切り替わります。

1	フォーカス調整	画面に [フォーカス調整] と表示されます。 投写映像のピントを調整します。 ☞ p.30
2	2 ズーム調整	画面に [ズーム調整] と表示されます。 投写映像のサイズを調整します。 ☞ p.31
3	8 レンズシフト調整	画面に [レンズシフト調整] と表示されます。 投写映像の位置を調整します。 ☞ p.31

調整を終了するときは、レンズシフト調整で
Lens
ボタンを押します。



📱 ピント調整 (フォーカス調整)

(・)・) ボタンを押してピントを調整します。



| 投写サイズの調整(ズーム調整)

(・)・) ボタンを押して投写画面の大きさを調整します。



Menu

投写映像の位置調整(レンズシフト)

スクリーンの正面に本機を設置できないときは、レンズシフトで映像の位置を調整します。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ √ ◇ √ √ √ √ √ √ √ を使って映像の位置を調整します。

映像を移動できる範囲は、右図の点線の範囲内です。



\Lambda 注意

--

本機を輸送するときは、上下左右のレンズ位置を中心に戻してください。レンズ位置を上下左右にシフトした状態で輸送すると、レンズシフトの機構が破損するおそれがあります。

スクリーンに対して正面の位置に本機を設置できない場合は、レンズシフトによる投写位置の調整をお勧めします。レンズシフトを使っても調整できない場合は、台形補正で調整してみてください。

台形補正

映像が台形にゆがんでいるときは操作パネルの · ⁽⁾· ボタンで補正します。

· ○ ボタンを上または下に倒すと、補正ゲージが表示されます。 ゲージが表示された状態で、 ○ ボタンを上または下に倒すと縦方向に補正します。

上下のどちらかが広いとき



- ・ 台形ゆがみを補正すると投写画面が小さくなります。目的の投写画面サイズに合わせるときは、投写距離を長くしてください。
 - 台形補正は環境設定メニューからも設定できます。 ☞ [設定] [台形補正] p.75
 - 正しく補正できる範囲は、補正角度で上下約30°以下です。
 - 位置の調整は、レンズシフトによる補正の方が投写映像の品質が保たれます。台形補正はレンズシフトで調整できない場合に利用してください。

入力ソースの切り替え

次の方法で入力ソースを切り替えます。

目的の入力端子のボタンを押します。



- ・操作パネルの Source ボタンを押して、入力ソースを切り替えることもできます。
 - 」 映像機器の場合は、再生状態にしてから入力ソースを切り替えてください。
 - [Video] や [Component] の入力ソースに切り替えて色が不自然になるときは、[入力信号] と接続した端子が同じかどうか確認してください。 ● [設定] - [入力信号] - [ビデオ信号 方式] / [Component] p.75

アスペクト

入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせて投写画面の [アスペクト] を切り替えます。 投写している映像の種類により選択できる [アスペクト] は異なります。

営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、ホテルや店内外などでアスペクト機能を unn 利用して映像を圧縮・引き伸ばし・分割を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を 侵害するおそれがあります。 Aspect ボタンを押します。 <->◇ ボタンで設定名を選択 2 し、 🔤 ボタンを押して決定します。 Memory Lens1 Lens2 3D Format Frame Int SupRes/4K [アスペクト] ◆オート 🕗 Dyn CR Pattern Asp ノーマル Lens Iris RGBCMY $\overline{}$ フル ズーム ナモフィック Hスクイーズ 環境設定メニューからも設定でき ます。 ☞ [映像] - [アスペク 信号によって [アスペクト] が選 ト] p.72 択できない場合があります。

通常はオートに設定しておくことで入力信号に最適なアスペクトで表示されます。異なる比率で表示したいときに切り替えてください。

下記の表は16:9のスクリーンに投写した場合のイメージです。

入力映像	設定名(アスペクト)		
	ノーマル	フル	ズーム
4:3の映像			
16:9の映像		16:9の映像を投写する場合、フル、ズームは選 択できません。	
スクイーズ記録された映像			
レターボックスの映像※			

入力映像	設定名(アスペクト)			
	ノーマル	フル	ズーム	
補足	投写パネルの縦サイズに 合わせて表示します。入 力映像により縦横比が異 なります。	投写パネル全体を使って 表示します。	入力信号の縦横比を維持 して、投写パネルの横サ イズに合わせて表示しま す。上下が切れる場合が あります。	

※説明に使用しているレターボックスのイメージは、16:9の映像の上下に字幕用に黒い帯が付加されて 4:3の映像として表示される映像を例としています。画面イメージの上下の枠は字幕用の帯を示して います。

本機は、さらに [アナモフィック] と [Hスクイーズ] の設定があります。

[アナモフィック]は、市販のアナモフィックレンズを装着し、シネマスコープサイズで収録されているDVDやブルーレイディスクなどのコンテンツを見るときに設定します。

[Hスクイーズ] は、あらかじめ入力信号のアスペクトを水平方向に縮小して表示し、市販のアナモフィックレンズを装着したときに、スクリーンいっぱいに表示できます。

- [オーバースキャン]を設定している状態で [アナモフィック]を選択すると映像が切れる場合があります。[オーバースキャン]は [オフ] にして使ってください。● [映像] [アドバンスト] [オーバースキャン] p.72
 - [アナモフィック] で3D映像を投写するときは、1080p/24 Hz/フレームパッキングの信号のみ対応しています。
 - 4K映像信号が入力されているときは、[ノーマル]、[アナモフィック]、[Hスクイーズ]のみ 選択できます。

映像を一時的に消す

スクリーンの映像を一時的に消したいとき使います。

Blank ボタンを押すたびに映像を消す/映すが切り替わります。



- 動画の場合は、消している間も映像は進んでいますので、 Blank ボタンで映像を消したときの 場面からは再開できません。
 - 環境設定メニュー表示中に Blank ボタンを押すと、メニューを一時的に消し、画面右上に を表示します。
 - ・映像を消しているときに、リモコンまたは操作パネルの (④) ボタンを押すと、電源オフの確認
 メッセージが表示されます。もう一度 (④) ボタンを押すと電源が切れます。

⊇ 3D映像を見る

本機では、3Dメガネを使用して3D映像を見ることができます。

- ■ 3Dメガネはアクティブシャッター方式のため、あらかじめ充電が必要です。 p.39
 ● 3Dメガネはあらかじめ本機とペアリングする必要があります。 p.40
- 3D映像視聴に関する注意

3D映像を視聴するときは、次のことに注意してください。



分解改造について

3Dメガネを分解したり改造しないでください。
 火災や視聴時の異常による体調不良の原因になります。

保管場所について

• 3Dメガネや同梱部品は、乳幼児の手の届く場所に置かないでください。 誤使用によりけがの原因になることがあります。

無線(Bluetooth)について

- 医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。お使いの前に、医療機器が近くにないことを確認してください。
- ・自動制御機器に電磁妨害をおよぼすことがあり、誤作動による事故の原因となります。自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。

加熱について

3Dメガネを火の中に入れたり、加熱したり、高温になる場所に放置したりしないでください。本製品にはリチウム充電池を内蔵しているため、発火・破裂によるやけどや火災の原因になります。

充電について

- 充電時は、当社で指定のUSB端子に付属の充電ケーブルを接続してご使用ください。他の機器による充電は、電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になることがあります。
- ・付属の充電ケーブルは3Dメガネの充電用途以外に使用しないでください。発熱・発火・故障の原因になることがあります。
基本操作

<u> î</u>注意

3Dメガネについて

- 3Dメガネを落としたり、力を加えたりしないでください。 ガラス部分などが破損してけがの原因になることがあります。保管時はソフトケースに収納してく ださい。
- 3Dメガネを装着するときは、フレームの先端にご注意ください。
 目などをついてけがの原因になることがあります。
- 3Dメガネの可動部(ヒンジ部など)に指を挟まないようにしてください。
 けがの原因になることがあります。

\Lambda 注意

3Dメガネの使用について

- 3Dメガネは正しく装着してください。
 3Dメガネを上下逆に装着しないでください。
 右目と左目に映像が正しく表示されずに不快に感じたりすることがあります。
- 3D映像をご覧になる以外には使用しないでください。
- 3D映像の見え方には個人差があります。違和感を感じたり、立体に見えない場合は、3D機能のご 使用をお控えください。
- そのまま使用すると体調不良の原因となることがあります。
- 3Dメガネに異常・故障が発生した場合は直ちに使用を中止してください。 そのまま使用するとけがや体調不良の原因になることがあります。
- 3Dメガネを装着し耳、鼻やこめかみが赤くなったり、痛みやかゆみを感じたら使用を中止してください。

そのまま使用すると体調不良の原因になることがあります。

• 3Dメガネの装着により、肌に異常を感じたら使用を中止してください。 ごくまれに塗料や材質によりアレルギーの原因になることがあります。



視聴時間について

3D映像を視聴する場合は、定期的に適度な休憩をとってください。
 長時間の視聴による目の疲れなどの原因となることがあります。
 休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。休憩をとっても、疲労感、不快感がとれない場合は、使用を中止してください。

<u> î</u>注意

視聴方法について

- 3D映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止してください。
 そのまま使用しますと体調不良の原因となることがあります。
- 3D映像の視聴中は必ず3Dメガネを装着し、裸眼で3D映像を視聴しないでください。 体調不良の原因となることがあります。
- 3Dメガネを使用するときには周囲に壊れやすい物を置かないでください。
 実際の物に間違えて体を動かし、周囲の物を破損してけがの原因となることがあります。
- 3Dメガネは3D映像視聴中のみ装着し、3Dメガネを装着したまま移動しないようにしてください。 周りが暗くなり、転倒などによるけがのおそれがあります。
- スクリーンと(おおむね)水平な状態で視聴してください。 傾いた状態で視聴を続けると、3D効果を感じにくくなったり、映像の色が変わったりすることにより、体調不良の原因となることがあります。
- ・ 蛍光灯やLED照明などをお使いの部屋で視聴すると、部屋全体がちらついてみえることがあります。
 その場合は、ちらつきが消えるまで明かりを暗くしたり、照明を消して視聴してください。このちらつきによって、ごくまれに、けいれん発作や失神などの症状が起きることがあります。視聴中に体調の変化を感じた場合は視聴を中止してください。
- 画面の高さの3倍以上の視距離で視聴してください。
 推奨距離は、画面80インチの場合3.0m以上、画面100インチの場合3.6m以上です。
 推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因となることがあります。



視聴者について

 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3Dメガネを使用しないでください。 症状悪化の原因になることがあります。



視聴年齢について(お子様への注意)

- 3D映像の視聴年齢については、6歳以上を目安にしてください。
- 6歳未満のお子様の3D映像視聴については、視覚が発達段階にあるため、必要に応じて医師にご相談ください。
- お子様が3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴してください。お子様が視聴する場合は、 疲労感や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがありますので、保 護者の方が、目の疲れがないかご注意ください。

, T

--

3D映像の投写

HDMI1/HDMI2入力端子に接続された機器の映像のみ3Dで視聴できます。 本機は、3Dフォーマットとして、次のフォーマットに対応しています。

- フレームパッキング
- サイドバイサイド
- トップアンドボトム

| 機器によっては、3D映像信号が正しく出力されない場合があります。

本機が3Dフォーマットを判別できるとき

3Dフォーマットが判別できる映像信号を受信すると、自動的に映像を3Dで投写します。

本機が3Dフォーマットを判別できないとき

3Dテレビ放送によっては、3Dフォーマットを判別する 信号が含まれていないことがあります。その場合は、3D フォーマットを手動で設定してください。^{3D Formal} ボタン を押して、AV機器側の3Dフォーマットを選択します。



AV機器側の3Dフォーマットの設定については、AV機器の取扱説明書を参照してください。
 3Dフォーマットが正しく設定されていないときは、同じ画面が切れた状態で横または縦に並び、正しく表示されません。



映像が3Dで見えないときは

3Dフォーマットを設定しても、映像が正しく3Dで見えない場合は、以下の項目を確認してください。

- ・メガネの同期タイミングが逆になっていることがあります。[3Dメガネ左右反転]で反転して試してください。 [映像] [3D設定] [3Dメガネ左右反転] p.72
- 【3D表示】が【オフ】になっているときは3D映像に切り替わりません。リモコンの^{20/30} ボタンを押してください。

 ● [映像] [3D設定] [3D表示] p.72

- 3D効果の見え方には個人差があります。
 3D表示になるときに視聴に関する注意が表示されます。この注意は[3D視聴上の注意]で [オフ]にすることもできます。 ● [映像] - [3D設定] - [3D視聴上の注意] p.72
 ● 2D映像を3D映像に変換して楽しむこともできます。 ● p.41
 ● 2D映像40写内は環境部のシュー の次の燃料は充玉ですませい
 - 3D映像投写中は環境設定メニューの次の機能は変更できません。 アスペクト(ノーマル固定*)、ノイズリダクション(オフ固定)、オーバースキャン(オフ固定)、アドバンスト-シャープネス、Picture in Picture
 *1080p/24Hz/フレームパッキング信号投写時のみ、アナモフィックも選択できます。
 - 環境温度によっては3D映像の見え方が変わることがあります。正常に投写されない場合は使用を控えてください。

3Dメガネの準備

3D映像は、3Dメガネをかけて視聴します。

開封時、3Dメガネに保護シールが貼ってあります。保護シールをはがしてから使用してください。

| 3Dメガネを充電する

同梱のUSB充電AC電源アダプターで充電します。

USB充電AC電源アダプターで充電する

3DメガネをUSB充電ケーブルでUSB充電AC電源アダプターに接続し、USB充電AC電源アダプターをコンセントに差し込みます。



注意

W

- 表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
- 同梱のmicroUSB ケーブルの取り扱いには以下の点に注意してください。
 - ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
 - ケーブルを加工しないでください。
 - 電熱器の近くに配線しないでください。
 - 破損したケーブルは使用しないでください。

. W

】3Dメガネをペアリングする

3D映像を見るために、最初にメガネと本機をペアリングする必要があります。

ペアリングは、3Dメガネの【Pairing】ボタン長押しで開始します。詳しい操作については、3Dメガネの取扱説明書を参照してください。

- ・未使用の3Dメガネのときは、3Dメガネの電源投入時にペアリングされます。正しく3D映像 が視聴できるときは、ペアリングは必要ありません。
 - 一度ペアリングを実施すれば、次回以降は電源を入れるだけで視聴できます。
 - ペアリング可能範囲は、本機から3mです。ペアリング中は、本機から3m以上離れないでく ださい。ペアリングに失敗します。
 - 30秒以上、同期できない場合は、自動的にペアリングを終了します。このとき、ペアリングは失敗となるため、3D映像は視聴できません。

3Dメガネの装着と視聴



3Dメガネを装着し、視聴します。
 ・使い終わった後は【電源】スイッチをOff側にスライドさせ、電源を切ります。
 3Dメガネは、3O秒以上使用しないまま放置すると、自動的に電源が切れます。電源を再投入するときは、一度、【電源】スイッチをOff側にスライドさせます。
 3D映像を複数人で楽しむときには、別途3Dメガネが必要です。 ● p.99

3D映像を見る範囲

本機は、次の図の視聴範囲で3D映像をお楽しみいただけます。 プロジェクターから10mの範囲で3D映像をお楽しみいただけます。



- ・他のBluetooth通信機器の影響があると、正しい3D映像が見られないことがあります。同時には使用しないでください。
 - 3Dメガネの通信方式は無線LAN(IEEE802.11b/g)や電子レンジと同一周波数帯 (2.4GHz)を使用しています。そのため、同時に使用すると、電波干渉が発生し、映像が途切 れたり接続ができないことがあります。同時に使用したいときは、本機をこれらの機器の近く で使用しないでください。
 - 3Dメガネは、Full HD 3D Glasses Initiative[™]規格に準拠した、アクティブシャッター方 式の3Dメガネです。

2D映像を3D映像に変換して見る

HDMI1/HDMI2からの2D映像を3D映像に変換します。

 ▲ ボタンを押して、環境設定メニ ューから [映像] - [3D設定] を選 択し、 ☞ ボタンを押して決定しま す。

[3D設定]の画面が表示されます。





● [映像] メニューの [映像処理] が [速い] に設定されているときは設定できません。 ● [映像] - [アドバンスト] - [映像処理] p.72

2



カラーモード

投写時の環境に応じて最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。





[カラーモード] を選択します。

表示されるメニューから <--> <-> ボタンを押して [カラーモード] を選択し、 <--> ボタンを押して [カラーモード] を選択し、 <--> ボタンを押



選択できるカラーモードは次の通りです。

- ✓ : 選択可能
- : グレーアウトされて選択不可

モード名	投写映像		使い方	
	2D	ЗD		
ダイナミック		-	明るい部屋での使用に適しています。	
リビング		-	映像を明るく鮮やかに投写します。	
ナチュラル	1	-	暗い部屋での使用に適しています。色調整は、このモー ドからすることをお勧めします。	
ТНХ		-	THX社が認定しているカラーモードです。	
シネマ	/	-	暗い部屋で映画やコンサート映像を楽しむのに適してい ます。	
デジタルシネマ	/	-	映画館で使用されているデジタルシネマと同じ色域で映 像を投写します。	
Adobe RGB	/	-	Adobe RGBの色空間を使って投写します。映像のカラ ープロファイルがAdobe RGBの場合に適しています。	
3Dダイナミック	-		3Dシネマより明るく鮮やかな映像を投写します。	
3Dシネマ	-	/	3Dダイナミックに比べてきれいな色を再現できます。	
3D THX	-		THX社が認定しているカラーモードです。	

Super-resolution/4K Enhancement

Super-resolutionと4K Enhancementの2種類の設定があります。

低解像度の映像が本機に入力されたときは1920 x 1080画素へ拡大されます。Super-resolution は、拡大して投写するときに発生するエッジ部分などのボケを低減し、よりはっきりとした映像で 表示するように処理します。

4K Enhancementは、「4K Enhancement Technology」により映像を4K(3840 x 2160画 素)で投写し、Super-resolution処理と合わせてさらに高精細な映像を表現します。



\$ 2

Memory Lens1 Lens2
3D Format Frame Int SupRes/4K
Dyn CR Pattern ct
Lens Iris RGBCMY

 ■ 環境設定メニューからも設定できます。 ● [映像] - [Super-resolution/ 4K] p.72

- コンピューター映像信号入力時は設定できません。
- 2D映像を3D映像に変換しているときは設定できません。 [映像] [3D設定] [2D-3D変換] p.72
- 環境温度によっては映像の見え方が変わることがあります。投写開始後しばらくたってから操作することをお勧めします。

3

, T

→ ◇ ✓ ボタンで項目を選択し、 🔤 ボタンを押して決定します。

Super-resolutionの設定をするときは、[1] ~ [5] を選択します。 4Kで表示してSuper-resolutionの設定をするときは、[4K-1] ~ [4K-5] を選択します。 項目名の数字が大きいほど効果が強くなります。



- ・映像によっては、エッジのノイズが強調されることがあります。ノイズが気になるときは、ほかの項目を設定してください。
 - 3D映像を投写するときは、[4K Enhancement] は設定できません。また、[Superresolution] は1080p/24Hz/フレームパッキングの信号にのみ有効です。
 - 4K映像信号入力時は、[1] ~ [5] は設定できません。
 - ・ [映像処理] が [速い] に設定されているときは、[4K-1] ~ [4K-5] は選択できません。[きれい] に設定してください。
 ・ [映像] [アドバンスト] [映像処理] p.72

Supresr4K ボタンを押してメニューを終了します。

4Kで投写中は、次の機能で制限が発生します。

- [アスペクト]: [ノーマル] / [アナモフィック] / [Hスクイーズ] のみ選択可能
- [フレーム補間]: 1080p/24Hz信号入力時のみ設定可能、それ以外は [オフ] 固定
- [映像処理]:[きれい] 固定

画質設定

ディテール強調

映像の細部を強調し、輪郭がはっきりした映像にします。



ダイナミックコントラスト

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある映像が 作り出されます。

映像の明るさの変化に対する光量調整の速さを、[標準]、[高速]から選択します。



フレーム補間

前後のコマから中間のコマを自動生成して補間することで、動きの速い動画でもコマ飛びすること なくなめらかに再生できます。

[弱]、[標準]、[強]で補間の加減を選択できます。

Frame Int ボタンを押します。 Memory Lens1 Lens2 DP Format France Sup Res:4K Dyn CR r Aspect Lens Iris V User	2 ボタンで項目を選択し、 (me) ボタンを押して決定します。 (フレーム補問) (フレーム補問) (現) (現) (現) (四) (日本) (日本)
 ・環境設定メニューからも設定できます。 ・[映像]・[フレーム補間] p.72 ・[映像] メニューの [映像処理]が [速い] に設定されているときは設定できません。 ・[アドバンスト]・[映像処理] p.72 ・コンピューター映像信号入力時は設定できません。 ・3D映像を投写するときと、[映像] メニューの [Superresolution/4K] が [4K] に設定されているときは、1080p/24Hzの信号にのみ本設定は有効です。 ・[Superresolution/4K] p.72 	 ・設定変更後、ノイズなどが気になるときは、[オフ] に設定してください。 ・4K映像信号入力時は[オフ] 固定になり、[弱]、[標準]、 ・通] は設定できません。 IfameInt ボタンを押してメニューを終了します。

🖸 こだわりの画質調整

色相・彩度・明度

R(赤)G(緑)B(青)C(シアン)M(マゼンタ)Y(イエロー)の各色について、色相、彩度、 明度を調整します。

色相	映像全体の色みを、青系〜緑系〜赤系へと調整します。
彩度	映像全体の鮮やかさを調整します。
明度	映像全体の色の明るさを調整します。



ガンマ

E C

画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色を調整します。 設定方法は次の3つの方法があり、環境設定メニューで選択します。

設定方法	メニューの入り方
補正値を選んで調整する	[画質]-[アドバンスト]-[ガンマ]
映像を見ながら調整する	[画質]-[アドバンスト]-[ガンマ]-[カスタム]-[映像から調 整する]
ガンマ調整グラフで調整する	[画質]-[アドバンスト]-[ガンマ]-[カスタム]-[グラフから 調整する]

補正値を選んで調整する

補正値を選択し、 (me) ボタンを押して決定します。 数値が大きいほど、映像の暗い部分が明るくなります が、明るい部分はつぶれぎみになります。ガンマ調整グ ラフは上側が膨らんだ形になります。 数値が小さいと、映像の明るい部分が暗くなります。ガ ンマ調整グラフは下側が膨らんだ形になります。



• ガンマ調整グラフの横軸は入力信号レベルを、縦軸は出力信号レベルを表します。

J • 調整結果を初期値に戻すときは 🔤 ボタンを押します。

映像を見ながら調整する

投写中の映像を見ながら調整します。



ガンマ調整グラフが表示されます。

▼ 調整 Saoutリセット Enter決定

| ガンマ調整グラフで調整する

投写中の映像のガンマ調整グラフを見ながら調整します。



RGB(オフセット・ゲイン)

映像の明度を、R(赤)G(緑)B(青)についてそれぞれ、暗い部分(オフセット)と明るい部分 (ゲイン)を調整します。数値を大きくすると明るく、数値を小さくすると暗くなります。

オフセット	明るくすると暗い部分の濃淡が表現されます。暗くするとメリハリのある見え方にな りますが、暗い部分の濃淡の差がなくなります。
ゲイン	明るくすると明るい部分が白っぽくなり濃淡の差がなくなります。暗くすると明るい 部分の濃淡が表現されます。

次の順でメニューを表示します。 [画質] - 「アドバンスト] - [RGB]

< ▲ √ ボタンで項目を選択し、	(・)・) ボタンで調
整します。	

[RGB]		
オフセットR	0 🔿 🗖	
オフセット G	0 🔇 📃	
オフセットB	0 🔇 📃	
ゲイン R	0 🔇 📃	
ゲイン G	0 🔇 📃	
ゲイン B	0 🔇 📃	

Esc戻る III 調整/選択 Defaultリセット Menul終了

| 調整結果を初期値に戻すときは 🔤 ボタンを押します。

色温度

色温度を調整します。映像の青みが強すぎる、赤みが強すぎるなどのときに調整します。

次の順でメニューを表示します。 「画質] - 「色温度]	[画質] 色温度		0 L ()	• • н
(・)・) ボタンで調整します。 数値を大きくすると青みが強くなり、数値を小さくする と赤みが強くなります。	【 至 页 3 _ 【	∎整	Defaul i リセット	Menul終了

- • [カラーモード] の設定によって [色温度] の設定値が異なります。
 - 調整結果を初期値に戻すときは 🔤 ボタンを押します。

肌の色調整

肌色を調整します。肌の色が赤すぎる、緑がかった色になるなどのときに調整します。

次の順でメニューを表示します。 [画質] - [肌の色調整]

[画質]			
肌の色調整		0 🛇 💻	
■展る	◆調整	Defaultリセット	Menu終了

(・) ボタンで調整します。 数値を大きくすると緑がかった色になり、数値を小さく すると赤みのある色合いになります。

調整結果を初期値に戻すときは Default ボタンを押します。



画像を強調します。[スタンダード] と、さらに詳細な調整ができる [アドバンスト] の2種類があ ります。

以下の場合は [アドバンスト] の調整はできません。

- コンピューター映像信号が入力されているとき
- [映像] メニューの [映像処理] を [速い] に設定しているとき
- 3D映像を投写しているとき

す。

2

[アドバンスト]の設定項目と設定手順は次の通りです。

高域強調	髪の毛や衣服の模様などの細かい部分が強調されます。
低域強調	被写体全体の輪郭や背景などの粗い部分が強調され、くっきりとした映像 になります。
水平シャープネス	水平方向または垂直方向に画像が強調されます。
垂直シャープネス	

1 ボタンを押して、環境設定メニ ューから [画質] - [シャープネス] を選択し、 デオンを押して決定 します。
[シャープネス]の調整画面が表示されま

画面右上の [アドバンスト] を選択

[アドバンスト]の調整画面が表示されま す。

し、 🔤 ボタンを押して決定します。

> +側(右側)にすると強調され、-側(左 側)にするとソフトになります。

[シャープネス]	0 6	スタンダード 🕑	>
高域強調	0 🔕 📃		>
低域強調	0 🔕 📃		
水平シャープネス	0 🜒 📃		
垂直シャープネス	0 🜒 📃		>
亟戻る ┻┙選択	Enter 決定	Menu終了	

一番上のバーは高域/低域を同時調整しま す。

調整結果を初期値に戻すときは Default ボタンを押します。



レンズアイリス

投写レンズ内で光量を絞り、明るさを調整します。

映像の明るさに合わせて光量が自動的に調整されるダイナミックコントラストとは異なり、明るい シーンの多い映像のときに、光量をお好みで調整できます。



液晶アライメント

液晶パネルの画素の色ずれを調整します。

 レンズシフトで映像の位置を調整して投写しているときは、使用時の位置に調整した状態で液 晶アライメントをしてください。
← p.31 極端な台形補正を使って投写していると、液晶アライメントの調整が正しくできません。台形 補正が不要な場所に設置してください。 Menu ボタンを押して、環境設定メニ 「調整開始]を選択し、 🔤 ボタンを 5 1 ューから [設定] - [液晶アライメ 押して決定します。 ント]を選択し、 🔤 ボタンを押し はじめに液晶パネル全体の調整をします。 て決定します。 開始確認のメッセージが表示されたら、 (***) ボタンを押して調整を開始します。 [液晶アライメント] の調整画面が表示さ れます。 6 ■ ボタンを押します。 「液晶アライメント」を「オン」に 2 します。 [液晶アライメント] 調整色: R 画質 [液晶アライメント] のオン 映像 調整色 R R/G/B 設定 調整開始 初期化 情報 より詳細な調整を行う場合は、[4] 7 初期化 隅を調整する]を選択し 🔤 ボタン を押して決定します。 ▲選択 BEC戻る Enter 決定 Menul 終了 [オン] に設定すると調整した結 <-><・>(•)(•)(•)ボタンで調整し、 果が有効になります。[オフ] に 8 すると補正値は初期値に戻りま ☞ ボタンを押して次の調整ポイン す。 トに進みます。 [液晶アライメント] [調整色] で調整する色を選択しま 調整色: R 3 す。 H: V: [パターン色] で調整時に表示する 4 格子の色を選びます。 [パターン色] を選択し、 🔤 ボタンを押 します。



映像処理

投写映像に対して、画質または応答速度を向上させる処理をします。

Component/Video/HDMI1/HDMI2入力端子からのプログレッシブ信号で有効です。



- [映像処理]を[速い]に設定すると、設定が次の通りになり、メニュー項目がグレーアウトします。
- [ノイズリダクション]、[フレーム補間]、[2D-3D変換]:[オフ] 固定
- [シャープネス] [アドバンスト]、[Super-resolution/4K] [4K]:設定不可
 [Super-resolution/4K] を [4K] に設定しているときに [映像処理] を [速い] に設定する
 と、4K Enhancement解除のメッセージが表示されます。[はい] を選択すると [Super-
- resolution/4K]を[オフ]に設定します。[いいえ]を選択すると手順2の画面に戻ります。
- リフレッシュレートが24Hzまたは30Hzの信号入力時は、[きれい]の設定で動作します。

カラーガマット

お使いの映像機器の規格に合ったカラーガマット(色域)への設定が簡単にできます。 [カラーモード]を[ナチュラル]に設定しているときに設定できます。



2 機器に合わせて項目を選択します。

 ^[カラーガマット]
 ^{(カラーガマット]}
 ^(日田) ⁽¹⁾
 ^(日田) ⁽¹⁾
 ^(日田) ⁽¹⁾
 ⁽¹⁾



HDMIリンク機能

本機のHDMI1/HDMI2入力端子にHDMI CEC規格に対応したAV機器を接続すると、電源オン連動やAVアンプの音量調整など連携動作が1つのリモコンで操作できます。

- ・ハイスピードHDMIケーブルで接続してください。
 - AV機器がHDMI CEC規格に対応していれば、中継するAVアンプがHDMI CEC規格に対応していなくてもHDMIリンク機能が利用できます。
 - HDMI CEC規格に対応していても動作しない接続機器や、動作しない機能があります。接続 機器の取扱説明書などを参照してください。

接続例



HDMIリンク設定

リモコンの	┉」ボタンを押し、	[HDMIU]	ンク]	を	[才
ン] にすると	、次の機能が操作	できます。		p.7	'5

[HDMIリンク]	
接続機器一覧	
HDMIリンク	❷オン
電源オン連動	オフ
電源オフ連動	オン

機能	説明
電源オン連動	接続機器側でのコンテンツ再生に連動して、本機の電源が入ります。または、 本機の電源オンに連動して、接続機器の電源が入ります。
電源オフ連動	本機の電源オフに連動して、接続機器の電源が切れます。
	 接続機器のCEC電源連動機能を有効に設定しているときのみ有効。 録画中の機器など、状態によっては電源が切れないことがあります。
入力切替連動	接続機器のコンテンツ再生に連動して、本機の入力ソースがHDMIに切り替わ ります。
接続機器操作	再生/停止/早送り/巻き戻し/チャプター送り/チャプター戻し/一時停止などの 操作が本機のリモコンで操作できます。



HDMIリンクを使用するには、接続機器側の設定も必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書を 参照してください。

接続機器の選択

HDMIリンクで操作できる機器を一覧で表示し、使用する機器を選択します。



2 HDMIリンクで操作したい機器を選 択します。 ^{【接続機器 – 覧】} ^{種類} 機器名 接続ソース ^Dレコーダー1 BH-XXX HDM11

	<u> </u>	Di AAA	11010121	
	∎プレーヤー1	DWR-XXX	HDMI2	
	■レコーダー2		WirelessHD	
				-
	• ヘリマンプ	VCD_VVV		
		131-144	HDIWIZ	
Esc 戻る	5 ▲】選択	Enterl決定	HDMI Link 終	7

🖸 レンズポジション機能

フォーカス、ズーム、レンズシフトで調整したレンズの位置を登録できます。 登録したレンズの位置を呼び出して、最適なレンズ位置にすばやく設定して投写できます。

たとえば、シネマスコープサイズスクリーンに投写するときや、異なるアスペクトのスクリーンを 複数設置しているときにレンズ位置を登録しておくと、必要なときに簡単に呼び出すことができます。

レンズポジションの登録 フォーカス、ズーム、レンズシフト <->◇ ボタンで登録するレン 4 を登録したい状態に調整します。 ズポジション名を選択し、 🔤 ボタ ンを押して決定します。 Memory ボタンを押します。 調整値が登録されます。 2 レンズポジション名の左のマークが緑色 Memory Lens1 Lens2 のときは登録済みです。登録済みのレン mat Frame Int SupRes/4K ズポジション名を選択したときは、上書 Pattern Aspect きを確認するメッセージが表示されます。 ens Iris RGBCMY User [はい]を選択すると、以前の内容を消去 し、現在の調整値を登録します。 • 登録できるレンズポジションの <→◇ ボタンで [レンズポジ 3 数は10個までです。 ション登録]を選択し、 🔤 ボタン • [Memory1] または を押して決定します。 [Memory2] に登録しておく と、それぞれリモコンの Lens1 ボタンまたは Lens2 ボタンを押 すだけで呼び出せます。 名称変更 レンズポジション呼出 0

[レンズポジション登録]の画面が表示されます。

レンズポジションの呼び出し



呼び出したいレンズポジション名を選択します。

ズーム、フォーカス、レンズシフトが、登録されている状態に調整されます。

調整中はメッセージが表示され、本機を操作できません。

「Memory1]、[Memory2] に登録した調整値は、それぞれリモコンの Lens1 ボタン、
 「Lens2 ボタンを押すだけで呼び出せます。

 登録した調整状態へ完全に復元することを保証するものではありません。誤差が生じる 場合があります。

レンズポジションの削除

Memory ボタンを押し、[レンズポジション削除]を選択します。

[レンズポジション削除]の画面が表示されます。

2

2

3

削除するレンズポジション名を選択します。

確認するメッセージが表示されます。[はい]を選択すると、登録内容が削除されます。

】登録したレンズポジションをすべて消去する場合は、環境設定メニューの〔初期化〕-〔レ 〕ンズポジション初期化〕で行います。 ☞ p.84

レンズポジション名称変更

レンズポジション名は変更できます(最大12文字)。わかりやすい名前にしておくと呼び出すときに 便利です。

Memory ボタンを押し、[レンズポジション名称変更]を選択します。

[レンズポジション名称変更] の画面が表示されます。

変更するレンズポジション名を選択します。

名前を入力します。

ソフトキーボードが表示されます。 🖝 p.83

入力を終了するときは [Finish] を選択します。

レンズポジション名が変更されます。

[カ	スタ	7 L]													
A H O	B I P	C J Q	D K R	E L S	F M T	G N U	1 4 7	2 5 8	3 6 9	+ %	- & #	•	Ba Sp	cksp ← ace	Del → AllDel	
V	W	X	Y	Z	CA	PS	Ö	SY	M1	?	0	_	Fi	nish	Cance1	
Esc 戻	る			1\$	と選	択			Ente	一決	定			Memor	1終了	

🔵 メモリー機能

登録できる設定

環境設定メニューの一部の設定を登録できます(メモリー登録)。

登録しておくことで、映像やシーンに合わせた設定をリモコンから簡単に呼び出せます(メモリー 呼出)。

環境設定メニューの次の設定を登録できます。

画質 ☞ p.70	カラーモード、F ス、色温度、肌の	明るさ切替、明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合い、シャープネ D色調整、ダイナミックコントラスト
	アドバンスト	シャープネス、オフセット、ゲイン、ガンマ、色相、彩度、明るさ、 EPSON Super White
映像	プログレッシブ	変換、動き検出、Super-resolution/4K、ディテール強調
☞ p.72	アドバンスト	ノイズリダクション、セットアップレベル、 オーバースキャン、 HDMIビデオレベル

メモリーの登録

1 環境設定メニューで登録したい状態 に設定します。	4
2 Memory ボタンを押します。	[メモリー登録] ■ Memory1 ● ダイナミック ■ Memory2 ■ Memory3 ■ Memory5 ■ Memory5 ■ Memory6 ■ Memory7 ■ Memory9 ■ Memory10 ■ Memory10
3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	設定した状態がメモリーに登録されます。 メモリー名の左のマークが緑色のときは 登録済みです。登録済みのメモリー名を 選択したときは、上書きを確認するメッ セージが表示されます。[はい]を選択す ると、以前の内容を消去し、現在の状態 を登録します。 登録できるメモリーの数は10個 までです。

1

メモリーの呼び出し

Memory ボタンを押し、[メモリー呼出]を選択します。

[メモリー呼出]の画面が表示されます。

呼び出したいメモリー名を選択します。

- ・メモリーを登録したときのカラーモードが右側に表示されます。
- 」●入力信号によっては、呼び出したメモリー項目の一部が投写映像に反映されない場合が あります。
 - 2D映像時に登録したメモリーは2D映像時のみ呼び出しできます。3D映像時に登録したメモリーは3D映像時のみ呼び出しできます。呼び出せないメモリー名はグレーアウトされて選択できません。

メモリーの削除

Memory ボタンを押し、[メモリー削除]を選択します。

[メモリー削除]の画面が表示されます。



確認するメッセージが表示されます。[はい]を選択すると、登録内容が削除されます。

 一 登録したメモリーをすべて消去する場合は、環境設定メニューの〔初期化〕 - 〔メモリー初
 期化〕で行います。 ← p.84

メモリー名称変更

メモリー名は変更できます(最大12文字)。わかりやすい名前にしておくと呼び出すときに便利です。

Memory ボタンを押し、[メモリー名称変更]を選択します。

[メモリー名称変更]の画面が表示されます。

2 変更するメモリー名を選択します。

一覧の名前から選択するか、任意の名前を入力します。

一覧の名前から選んだときは、メモリー名が変更されていることを確認してください。 任意の名前を入力するときは、[カスタム]を選択し、ソフトキーボードで名前を入力します。 ☞ p.83



メモリー名が変更されます。

Picture in Picture

Picture in Pictureは、親画面(サイズの大きい画面)の中に子画面(サイズの小さい画面)を表示し、2種類の映像ソースを投写する機能です。

同時に表示できる画面の種類

Picture in Picture表示が可能な入力ソースは、HDMI1と HDMI2です。



Picture in Pictureで投写できる入力ソースの組み合わせ

親画面	子画面
HDMI1	HDMI2
HDMI2	HDMI1

本機ではSilicon Image, Inc.のInstaPrevue Technologyを採用しています。

Picture in Pictureの開始と終了

開始

本機で投写中にリモコンの P-in-P ボタンを押します。



入力されている映像がPicture in Pictureで表示されます。

親画面:直前までの映像

子画面:親画面とは別の入力ソース

終了

P-in-P ボタンを押すと終了します。

- •該当のソースが入力されていないときはPicture in Pictureで表示されません。
 - Ⅰ 3D映像と4K映像は、Picture in Pictureで表示できません。
 - Picture in Pictureで表示中に3D映像または4K映像が入力された場合は、Picture in Picture は解除されます。

Picture in Pictureの設定

子画面の表示サイズや位置は、[Picture in Picture設定] メニューで切り替えます。

Mem ボタンを押して、環境設定メニューから [設定] - [Picture in Picture] を選択し、 デオタンを押して決定します。

[Picture in Picture設定] メニューが表示されます。

Picture in Picture投写中に Menu ボタンを押すと [Picture in Picture設定] メニューが直接 表示されます。 2 表示される各機能を設定します。 [Picture in Picture設定] 子画面位置 右上 親画面/子画面入替 Picture in Picture終了

[Picture in Picture設定] メニューで設定できる機能

機能	説明
子画面サイズ	子画面の画面サイズを[小]、[大]で切り替えます。
子画面位置	子画面の位置を[右上]、[右下]、[左上]、[左下]で切り替えます。
親画面/子画面入替	親画面と子画面を切り替えます。
Picture in Picture終了	Picture in Picture表示を終了します。

🖸 ネットワークを使った操作や設定

本機をネットワークに接続すると、ネットワーク経由でコンピューターやスマートデバイスから本 機の設定や制御ができます。

Webブラウザーで設定・操作

ネットワークに接続した本機と同一ネットワークにあるコンピューターやスマートデバイスのWeb ブラウザーを使って、本機の設定を変更したりリモコンと同様に操作できます。

設定の変更はWeb制御、操作はWeb Remoteを使います。

対応しているWebブラウザーは次の通りです。 Windows: Internet Exploler 8、9、10(Metro以外) Mac OS X: Safari



2

[待機モード]を[通信オン]に設定しておくと、本機がスタンバイ状態(電源オフの状態)でも、Webブラウザーを使った設定や制御ができます。 [設定] - [待機モード] p.75

プロジェクターの設定の変更(Web制御)

Web制御を使ってプロジェクターの設定を変更できます。

ご使用のWebブラウザーで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、 Web制御画面を表示できません。表示したい場合は、プロキシサーバーを使用しないで接続す るように設定してください。

コンピューターでWeb制御画面を表示

Webブラウザーを起動し、Webブラウザーのアドレス入力部に、プロジェクターの IPアドレスを入力します。

Web制御画面が表示されます。

ユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザーIDに 「EPSONWEB」と入力します。

パスワードの初期設定は「admin」です。

スマートデバイスでWeb制御画面を表示

Webブラウザーを起動し、Webブラウザーのアドレス入力部に、プロジェクターの IPアドレスを入力します。

Webブラウザーに [remote] と [config] のアイコンが表示されます。



[config] アイコンをタップします。

Web制御画面が表示されます。



パスワードの初期設定は「admin」です。

Web制御で設定できない環境設定メニューの項目

- [設定] [ユーザーボタン]
- [設定] [動作設定] [高地モード]
- [設定] [表示設定] [メニュー表示位置]
- [設定] [表示設定] [メニューカラー]
- [設定] [表示設定] [スタンバイ確認]
- [設定] [表示設定] [型番表示モード]
- •[設定] [液晶アライメント]
- [設定] [言語]
- [初期化] [全初期化]

各メニューの項目の内容は本機の環境設定メニューと同じです。 🖝 p.70

プロジェクターの操作(Web Remote)

Web Remoteを使って、Webブラウザーからプロジェクターを操作できます。

コンピューターでWeb Remote画面を表示



2 Web Remoteをクリックします。 Web Remote画面が表示されます。

スマートデバイスでWeb Remote画面を表示

Webブラウザーを起動し、Webブラウザーのアドレス入力部に、プロジェクターの IPアドレスを入力します。

Webブラウザーに [remote] と [config] のアイコンが表示されます。



2 [remote] アイコンをタップします。 Web Remote画面が表示されます。

Web Remote画面のボタン





tine.

メール通知機能で異常を通知

環境設定メニューでメール通知機能の設定をしておくと、本機が異常/警告状態になったとき、設定したメールアドレスに異常状態が電子メールで通知されます。これにより、離れた場所にいても本機の異常を知ることができます。 [ネットワーク] - [メール] - [メール通知機能] p.80

- • 送信先 (宛先) は最大3つまで登録でき、一括して送れます。
 - 」●本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場合などは、メール送信できない ことがあります。
 - ・[待機モード]を[通信オン]に設定しておくと、本機がスタンバイ状態(電源オフの状態) でも監視できます。
 ・ [設定] - [待機モード] p.75

🔲 異常通知メールの見方

メール通知機能をオンに設定していて本機が異常/警告状態になったときには、次のメールが送付されます。

メールタイトル: EPSON Projector

1行目:異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名

2行目:異常が生じたプロジェクターに設定されているIPアドレス

3行目以降:異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの示す主な内容は次の通りです。

メッセージ	内容	対処方法
No-signal	ノーシグナル	本機に映像信号が入力されていません。 接続状態や、接続している機器の電源 が入っているかを確認してください。
Internal error	内部異常	異常/警告の対処方法は、インジケータ
	レーザードライバー異常	一の状態確認と同様です。 ☞ p.85
	致命的異常	
	レンズカバー異常	
Fan related error	ファン異常	
Sensor error	センサー異常	
	照度センサー異常	
Cinema Filter Error	シネマフィルター異常	
Laser Error	レーザー異常	
	レーザー不点灯	
Internal temperature error	高温異常	
High-speed cooling in progress	高温警告	
Cinema Filter Warning	シネマフィルター警告	
Static Iris Warning	スタティックアイリス警告	
Lens Iris Warning	レンズアイリス警告	
Static Iris Error	スタティックアイリス異常	



環境設定メニュー一覧

映像信号が入力されていないときは、環境設定メニューの画質と映像の項目は調整できません。また、画質、映像、情報は、投写している映像信号によって表示される項目が異なります。

🔲 画質メニュー

機能	メニュー/設定値	説明
カラーモード	ダイナミック、リビング、ナチュラル、 THX、シネマ、デジタルシネマ、Adobe RGB、3Dダイナミック、3Dシネマ、3D THX	投写する環境や映像に合わせて、画質 を選択します。 ☞ p.43
明るさ		映像の明るさを調整します。
コントラスト		映像の明暗の差を調整します。コント ラストを上げるとメリハリのある映像 になります。
色の濃さ※1		映像の色の濃さを調整します。
色合い ^{※1}		映像の色合いを調整します。
シャープネス	スタンダード 〇里二〇〇	映像全体のシャープ感を調整します。
	アドバンスト 高域強調、低域強調、 *1 水平シャープネス、 垂直シャープネス	映像のシャープ感を調整します。 特定の領域を調整したいときに使いま す。 ☞ p.51
色温度	-3~6(10段階)**2	映像全体の色合いを調整します。高い 値にすると青みがかった映像になり、 低い値にすると赤みを帯びた映像にな ります。
肌の色調整		数値を大きくすると緑がかった色になり、数値を小さくすると赤みのある色 合いになります。

機能		メニュー	-/設定値		説明
アドバンスト	ガンマ	2、1、0、 カスタム	-1、-2 映像から調 グラフから	i整する、 o調整する	ガンマ調整をします。数値を選択する 方法と、映像やグラフを見ながら調整 する方法があります。
		初期16			
	RGB	オノビット			R/G/BCCにオノビットとクイノを調整します。 ● p.50
	RGBCMY	R/G/B/C/ M/Y	色相、彩 度、明度		R/G/B/C/M/Yごとに色相、彩度、明 度を調整します。 ☞ p.48
	EPSON S White ^{%3}	Super	オン、オフ	,	 ([カラーモード] が [ナチュラル] / [THX] / [シネマ] / [Adobe RGB] / [デジタルシネマ] / [3Dシ ネマ] / [3D THX] の場合で、 HDMI1/HDMI2入力端子からの信号入 力時のみ設定可能) 白の部分が明るく白とびしているとき は、[オン] に設定します。[オン] に設定している場合は、[HDMIビデオレベ ル] での設定は無効になります。
	カラーガマット		HDTV、EBU、 SMPTE-C		お使いの映像機器の規格に合ったカラ ーガマット(色域)を設定します。 ☞ p.55
明るさ切替	高、中、低	; *4			明るさを3段階で切り替えます。 投写映像が明るすぎるときは [低] に 設定します。[低] で使用すると投写中 の消費電力、ファン回転音が減少しま す。
ダイナミック コントラスト	オフ、標準	ҍ、高速			映像の明暗変化に対する光量調整の追 従性を設定します。[オフ] にすると光 量調整は行いません。 ← p.46
レンズアイリ ス					レンズ絞りでレンズへの入射光量を調 整し、映像のコントラストを調整しま す。 🖝 p.52
初期化	はい、いい	れえ			[画質] のすべての調整値を初期値に戻 します。

※1 コンピューター映像信号入力時は表示されません。

※2 [カラーモード] が [ナチュラル]、[THX]、[Adobe RGB]、[3D THX] の場合、設定値は [5000K] ~ [10000K] になります。

※3入力ソースやカラーモードごとに設定値が保存されます。

※4 [カラーモード] が [THX] の場合、設定値は [ブライト]、[ノーマル]、[エコ] になります。
映像メニュー

機能	メニュー/設定値		説明
3D設定 ^{※1} ※2	3D表示	オン、オフ	3D映像表示の有効/無効を切り替えます。 ☞ p.38
	2D-3D変換	オフ、弱、中、強	2D映像を3D映像に変換する場合に、3D効 果の強さを設定します。 ● p.41
	3D方式設定	オート、サイドバ イサイド、トップ アンドボトム、 2D	入力信号の3D方式を設定します。[オート] にすると自動的に選択します。
	3D奥行き調整	-10~10	3D映像の奥行き感を設定します。
	映像サイズ	60~300	3D映像の投写サイズを設定します。実サイズに合わせることで、適切な3D効果になります。
	3Dメガネ左右反 転	はい、いいえ	3Dメガネの左右のシャッターと左右映像との同期タイミングを反転します。映像で3Dの効果が正しく表示されない場合に設定します。
	3D視聴上の注意	オン、オフ	3D映像視聴に関する注意の表示/非表示を切 り替えます。
アスペクト* ³	オート、ノーマル、フル、ズーム、ア ナモフィック、Hスクイーズ		アスペクトモードを選択します。 🖝 p.33
トラッキング ※3 ※4	入力信号によって異なります。		映像に縦の縞模様が出るときに調整します。
同期※3 ※4	0~31		映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出ると きに調整します。
			 ちらつき、ぼやけは、「明るさ」/「コント ラスト」/「シャープネス」の調整で発生 することもあります。 トラッキング調整の後に同期を調整したほ うが鮮明に調整できます。
表示位置 ※3 ※5			映像の一部が欠けているときに表示位置を上 下左右に移動し映像の投写範囲を調整します。
プログレッシ ブ変換 ^{※3}	オフ、ビデオ、フィルム/オート ^{※6}		 (Video入力端子から信号入力時、または Component/HDMI1/HDMI2入力端子か ら480i、576i、1080i信号入力時のみ設 定可能) 映像に適した方法でインターレース(i)信号 をプログレッシブ(p)信号に変換します。 [オフ]:動きの大きい映像に適しています。 [ビデオ]:一般のビデオ映像に適しています。 [フィルム/オート]:フィルム映画、CG、 アニメーション映像など入力信号に応じて 最適な変換を行います。

機能	×=	-/設定値	説明
動き検出 ※3 ※6	1~5		映像の動きの速さを1(遅い、静止画向き) から5(速い、動画向き)で設定します。静 止画の品質が劣る場合や動画がちらつくとき に設定してください。
フレーム補間 ※2 ※6	オフ、弱、標準、強		中間のコマを補間して残像を抑えた動画を投 写します。 🖝 p.47
Super- resolution/ 4K ^{%2} %6	オフ、1、2、3、4、5、4K-1、 4K-2、4K-3、4K-4、4K-5		Super-resolution (1~5) は、映像を 1920 x 1080画素へ拡大したときに発生す るエッジ部分などのボケを低減します。 4K Enhancement (4K-1~4K-5) は、映 像を4K (3840 x 2160画素) で投写し、 Super-resolution処理と合わせてさらに高 精細な映像を表現します。 ☞ p.44
ディテール強 調※2 ※6 ※7	範囲、強度	0~100	映像の細部を強調し、輪郭がはっきりした映像にします。数字が大きくなるほど輪郭部分からの効果の適用範囲が広くなります。 ● p.46
自動調整 ^{※4}	オン、オフ		入力信号が切り替わったときに、映像を自動 で最適な状態に調整するかどうかを設定しま す。自動調整されるのは、トラッキング、表 示位置、同期の3項目です。
アドバンスト	くト ノイズリダクショ オフ、1、2、3 ン ^{※2 ※3 ※6}		([映像処理] が [きれい] の場合のみ設定可 能) 映像のざらつきを抑えます。モードを3つ用 意しています。お好みの設定でご覧ください。 DVDやブルーレイディスクなど映像ソース にノイズが少ないときは [オフ] に設定して ご覧ください。
	セットアップレベ ル※3 ※6	0%、7.5%	(Video入力端子からNTSC信号またはコン ポーネントビデオ信号入力時に設定可能) 韓国向けの製品など黒のレベル(セットアッ プレベル)が違う機器を使用する場合に変更 します。接続する機器の仕様を確認してから 設定してください。

機能	×=	-/設定値	説明
(アドバンス ト)	オーバースキャン ※2 ※3 ※8	オート、オフ、 2%、4%、6%、 8%	 出画率(投写する映像の範囲)を変更できます。 [オフ]、2%~8%:映像の範囲を設定します。[オフ]はすべての範囲を投写します。映像信号によっては上下にノイズが入る場合があります。 [オート]:HDMI1/HDMI2入力端子からの信号入力時のみ表示されます。入力信号によって自動的に[オフ]または[8%]に設定されます。
	HDMIビデオレベ ル ^{※1} ※3	オート、通常、拡張	 [EPSON Super White] が [オフ]の場合のみ設定可能) [オート]に設定すると、本機のHDMI1/HDMI2入力端子へのDVD入力信号のビデオレベルを自動判別し設定します。 [オート]に設定していて映像に黒つぶれや白とびが生じるときは、DVD/ブルーレイディスクプレイヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。DVD/ブルーレイディスクプレイヤー側の設定では、Normal(通常)、Expand(拡張)となっていることがあります。 接続機器のDVI端子と接続しているときは [オート]が表示されません。
	映像処理※6	きれい、速い	画質または応答速度を向上させる処理をしま す。 ☞ p.54
初期化	はい、いいえ		[映像] のうち、[映像サイズ]、[3D視聴上 の注意]、[アスペクト]、[映像処理] 以外の すべての調整値を初期値に戻します。

※1 HDMI1/HDMI2映像信号入力時のみ表示されます。

※24K信号入力時は設定できません。

※3入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。

※4 PC映像信号入力時のみ表示されます。

※5 HDMI1/HDMI2映像信号入力時は設定できません。

※6 PC映像信号入力時は表示されません。

※7入力ソース、カラーモード、Super-resolution/4Kの設定ごとに設定値が保存されます。

※8 Component/HDMI1/HDMI2映像信号入力時のみ表示されます。

設定メニュー

機能	メニュー	-/設定値	説明
台形補正	-60~60		タテ方向の台形ゆがみを補正します。 ● p.32
HDMIリンク	接続機器一覧	-	HDMI1/HDMI2入力端子で接続している機 器の一覧を表示します。
	HDMIリンク	オン、オフ	HDMIリンク機能の有効/無効を切り替えま す。
	電源オン連動	オフ、双方向、接 続機器→PJ、PJ →接続機器	電源オンの連動機能を設定します。 接続機器側でのコンテンツ再生に連動して、 本機の電源が入る(双方向、接続機器→PJ) や、本機の電源オンに連動して、接続機器の 電源が入る(双方向、PJ→接続機器)ように 設定します。
	電源オフ連動	オン、オフ	本機の電源オフに連動して、接続機器の電源 を切るように設定します。
ロック設定	レンズロック	オン、オフ	 [オン]にすると、フォーカス、ズーム、レンズシフトを現在の設定状態でロックします。 [レンズロック]が[オン]のときに Lens ボタンを押すと、画面上に → が表示されます。
	チャイルドロック	オン、オフ	お子様が誤って電源を入れないように、操作 パネルの (1) ボタンでの電源オンをロックし ます。ロック時は、 (1) ボタンを約3秒間押 し続けると電源が入ります。 (1) ボタンでの 電源オフやリモコンでの操作は通常どおりで きます。 設定を変更した場合は、電源を切ってクール ダウンが終了した後に、設定が有効になりま す。 [チャイルドロック] を [オン] に設定して も、[ダイレクトパワーオン] を [オン] に設 定しているときは本機に電源コードを接続す るだけで投写が開始されますので、注意して ください。
	操作ボタンロック	オン、オフ	[オン] にすると本体操作パネルの () ボタン 以外のボタン操作が無効になり、ボタン操作 を行うと画面上に f が表示されます。解除 するには、本体操作パネルの () ボタンを約 7秒以上押し続けます。 設定を変更した場合は、環境設定メニューの 表示終了後に、設定が有効になります。

機能	メニュー/設定値	説明
設置モード	フロント、フロント・天吊り、リア、	本機の設置状態に応じて設定します。
	リア・天吊り	 「フロント」:スクリーン正面から投写する 場合に選択します。 「フロント・天吊り]:天吊りでスクリーン 正面から投写する場合に選択します。 「リア]:リアスクリーンへ裏側から投写す る場合に選択します。 「リア・天吊り]:天吊りでリアスクリーン へ裏側から投写する場合に選択します。
ユーザーボタ ン	2D-3D変換、3D奥行き調整、3Dメガ ネ左右反転、明るさ切替、ディテール 強調、情報	リモコンの ^{User} ボタンに割り当てる環境設 定メニューの項目を選択します。 ^{User} ボタ ンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/ 調整画面が直接表示されるのでワンタッチで 設定/調整を変更できます。
Picture in Picture [*]	-	Picture in Picture表示を開始します。 ● p.63
待機モード	通信オン、通信オフ	[通信オン] に設定すると、本機がスタンバ イ状態のときでも、ネットワーク経由での設 定や制御ができます。

機能	-ב=×	-/設定値	説明
動作設定	ダイレクトパワー オン	オン、オフ	本機をコンセントにつなぐだけで、ボタン操 作なしに投写できるよう設定できます。 [オン] に設定しているときは、停電復旧時 などに、電源コードが接続されていると、投 写が開始されますので注意してください。
	スリープモード	オフ、5分、 10分、20分	信号が入力されていない状態が設定した時間 続くと、自動的に電源が切れ、スタンバイ状 態になります。[オフ] にした場合はスリー プモードは働きません。スタンバイ状態にな っているときは、リモコンの ^① ボタンまた は操作パネルの ^① ボタンを押すと投写を再 開します。
	イルミネーション	オン、オフ	部屋を暗くして映画などを鑑賞中に操作パネ ルのインジケーターの点灯が気になるとき は、本設定を [オフ] にします。
	トリガーアウト1 トリガーアウト2	オフ、電源連動、 アナモフィック連 動	本機の電源オンの状態などを外部機器に伝え るトリガーアウト機能を設定します。 [トリガーアウト1]はTrigger out 1端子、 [トリガーアウト2]はTrigger out 2端子に 対応しています。 [オフ]は、Trigger out 1/Trigger out 2 端子から電圧が出力されません。 [電源連動]は、本機の電源がオンの状態の ときにTrigger out 1/Trigger out 2端子か ら電圧が出力されます。 [アナモフィック連動]は、[アスペクト]を [アナモフィック]または[Hスクイーズ]に 設定しているときに本機が電源オンの状態に なると、Trigger out 1/Trigger out 2端子 から電圧が出力されます。 設定を変更した場合は、再起動後に設定が有 効になります。
	高地モード	オン、オフ	標高約1500m以上でお使いの場合は [オン] にします。
	レンズ調整モード	1、2、3	フォーカス、ズーム、レンズシフトの調整 で、リモコンの (*) (*) ボタンを 1回押したときのレンズの移動量を設定しま す。 初期値は [2] です。移動量を小さくする場 合は [1]、大きくする場合は [3] を選択し ます。

機能	-ב=×	-/設定値	説明
表示設定	メニュー表示位置	-	メニューが表示される位置を指定します。
	メニューカラー	カラー1、カラー2	環境設定メニューの色合いを選択します。
			 [カラー1] トップメニュー:黒色 選択項目:グレー [カラー2] トップメニュー:青色 選択項目:オレンジ
	メッセージ表示	オン、オフ	次のメッセージ表示をする(オン)/しない (オフ)を設定します。
			 ・映像信号やカラーモード、アスペクト、メ モリー呼び出し時の項目名表示 ・映像信号が入力されていないときや未対応 信号の場合、内部温度上昇時
	背景表示	黒、青、ロゴ	映像信号が入力されていないときなどの画面 の状態を選択します。
	スタートアップス クリーン	オン、オフ	スタートアップスクリーン(投写開始時に投 写される映像)を表示する(オン)/しない (オフ)を設定します。設定を変更した場合 は、電源を切ってクールダウンが終了した後 に、設定が有効になります。
	スタンバイ確認	オン、オフ	スタンバイ確認メッセージを表示する(オ ン)/しない(オフ)を設定します。 ☞ p.27
	型番表示モード	オン、オフ	プロジェクターの型番を表示します。
入力信号	ビデオ信号方式	オート、NTSC、 NTSC4.43、 PAL、M-PAL、 N-PAL、 PAL60、 SECAM	Video入力端子に接続している映像機器に応 じて信号方式を設定します。[オート] にす ると、自動的にビデオ信号を設定します。 [オート] にしていても映像にノイズが入っ たり、映像が映らないなどのトラブルが起き る場合は、適切な信号を選択してください。
	Component	オート、YCbCr、 YPbPr	Component入力端子に接続している映像機 器の出力信号に応じて選択します。 [オート] にすると、自動的に設定します。 [オート] にしていて色が不自然な場合は、 適切な信号を選択してください。
液晶アライメ ント	液晶アライメント	オン、オフ	[液晶アライメント]の有効/無効を切り替え ます。
	調整色	R、 B	補正する色を選択します。
	パターン色	R/G/B、R/G、 G/B	補正時に使用するパターンを選択します。
	調整開始	-	[液晶アライメント] を開始します。 ☞ p.53
言語	初期化 -	はい、いいえ	補正値を初期化します。 表示する言語を選択します。

機能	メニュー/設定値	説明
初期化	はい、いいえ	[設定] のうち、次の設定以外のすべての調 整値を初期値に戻します。
		 「電源オン連動] 「電源オフ連動] [設置モード] [ユーザーボタン] [待機モード] [高地モード] [Component] [言語]

※4K映像信号入力時は設定できません。

🔲 メモリーメニュー

機能	説明
メモリー呼出	[メモリー登録] で登録した設定値を呼び出します。 ☞ p.61 [メモリー登録] で何も登録していないときは選択できません。
メモリー登録	[画質] メニューと [映像] メニューの一部をメモリーとして登録できます。 ☞ p.60
メモリー削除	登録済みのメモリーを削除します。 🖝 p.61
メモリー名称変更	登録済みのメモリーの名前を変更します。 🖝 p.61
レンズポジション呼出	[レンズポジション登録] で登録した調整値を呼び出します。 ● p.58 [レンズポジション登録] で何も登録していないときは選択できません。
レンズポジション登録	フォーカス、ズーム、レンズシフトの調整値をレンズポジションとして登録できます。 🖝 p.58
レンズポジション削除	登録済みのレンズポジションを削除します。 🖝 p.59
レンズポジション名称変更	登録済みのレンズポジションの名前を変更します。 🖝 p.59

】ネットワークメニュー

本機のネットワークの設定をして、コンピューターやスマートデバイスとネットワークで接続する と、環境設定メニューを表示せずにWebブラウザーで設定を変更したり、コンピューターやスマー トデバイスをリモコンとして使用できます。

また、異常通知メールの設定をしておくと、本機が異常/警告状態になったときに、設定したメール アドレスに異常の状態を知らせるメールが送信されます。

機能	説明
ネットワーク情報 - 有線 LAN	次のネットワーク設定状況を表示します。 • プロジェクター名 • DHCP • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • MACアドレス
ネットワーク設定画面へ	次の項目についてネットワークの設定を行います。 • [基本設定] ● p.81 • [有線LAN] ● p.81 • [メール] ● p.82 • [その他] ● p.82 • [初期化] ● p.83

ネットワークメニューの操作

トップメニューやサブメニューの選択、選択した項目を変更する操作は環境設定メニューと同様に 行います。ただし、終了するときは必ず〔設定完了〕メニューを選択し、表示される画面で〔はい〕、 [いいえ]、[キャンセル〕のいずれかを選択します。[はい〕または〔いいえ〕を選択すると、環境設 定メニューに戻ります。



[はい]:設定を保存して[ネットワーク]メニューを終了します。 [いいえ]:設定を保存しないで[ネットワーク]メニューを終了します。 [キャンセル]:[ネットワーク]メニューを終了せず、設定を続行します。

基本設定メニュー

機能	説明
プロジェクター名	ネットワーク上で本機を識別するための名称です。 変更するときは、半角英数字16文字以内で入力します。(" *+ , / ; < = > ? [¥] ` ¦は使用不可。)
PJLinkパスワード	PJLink対応アプリケーションソフトを使って本機にアクセスするときの 認証用パスワードを設定します。半角英数字で最大32文字まで入力でき ます。(記号は使用不可。)
Web制御パスワード	Web制御を使用するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字 で最大8文字まで入力できます。(*は使用不可。)Web制御はネットワー クで接続しているコンピューターやスマートデバイスのWebブラウザー を使って、コンピューターやスマートデバイスから本機の設定を変更する 機能です。 🖝 p.65

有線LANメニュー

機能	メニュー	-/設定値	説明
IP設定	DHCP	オン、オフ	DHCPを使用する([オン])/しない([オ フ])を設定します。ここで[オン]に設定す ると以降のアドレスの設定はできなくなりま す。
	IPアドレス		本機に割り当てるIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0~255の数字 を入力できます。ただし、以下のIPアドレス は使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~ 255.255.255.255(xは0~255の数字)
	サブネットマスク		本機のサブネットマスクを入力します。 アドレスの各フィールドには0~255の数字 を入力できます。ただし、以下のサブネット マスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
	ゲートウェイアドレス		本機のゲートウェイのIPアドレスを入力しま す。 アドレスの各フィールドには0~255の数字 を入力できます。ただし、以下のゲートウェ イアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~ 255.255.255.255 (xは0~255の数字)
IPアドレス表示	オン、オフ		[ネットワーク情報 - 有線LAN]の画面や Web制御画面上にIPアドレスを表示させない ときは、オフに設定します。

メールメニュー

プロジェクターが異常/警告状態になったときに、ここで通知先を設定すると電子メールで通知されます。

機能	メニュー/設定値	説明
メール通知機能	オン、オフ	オンにすると、プロジェクターが異常/警告 状態になったときに、設定した宛先にメール で通知します。
SMTPサーバー	-	本機が使うSMTPサーバーのIPアドレスを入 力します。 アドレスの各フィールドには0~255の数字 を入力できます。ただし、以下のIPアドレス は使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0~ 255.255.255.255 (xは0~255の数字)
ポート番号	1~65535	SMTPサーバーのポート番号を入力します。 初期値は25です。1~65535までの有効な 数値を入力できます。
宛先1設定 宛先2設定 宛先3設定		通知メールの送信先のメールアドレスを入力 し、メールで通知する本機の異常/警告を選 択します。送信先は最大3件まで登録できま す。メールアドレスは最大64文字まで入力 できます。("(),;<>[¥]は使用不可。) 環境設定メニューで入力できる文字数は最大 32文字です。32文字以上の入力をするとき は、Webブラウザーを使って入力します。 ● p.65

その他メニュー

機能	メニュー/設定値	説明
AMX Device Discovery	オン、オフ	AMX Device Discoveryによる本機の検出 を有効にしたいときは [オン] に設定しま す。AMX社のコントローラーやAMX Device Discoveryで制御する環境に接続し ていないときは、[オフ] に設定してくださ い。
Control4 SDDP	オン、オフ	Control4 SDDPによる本機の検出を有効に したいときは、「オン」に設定します。 Control4社のコントローラーやControl4 SDDPで制御する環境に接続していないとき は、「オフ」に設定してください。
Bonjour	オン、オフ	Bonjourによるネットワーク接続を行うとき は [オン] に設定します。Bonjourサービス の詳しい説明については、Apple社のWebサ イトをご覧ください。 http://www.apple.com/

初期化メニュー

ネットワークの設定をすべて初期化するときは「はい」を選択します。初期化した後は、「基本設定] メニューに移行します。

設定完了メニュー

[ネットワーク] メニューの設定を終了するときに選択します。 ☞ p.80

ソフトキーボードの操作

[ネットワーク] メニューでは英数字を入力して設定する項目があります。そのときは次のようなソ フトキーボードが表示されます。 ボタンを押して入力します。入力後ソフトキーボードの「Finish] 選択すると入力が確定します。ソ フトキーボードの [Cancel] を選択すると入力は取り消されます。



- [CAPS] キーを選択して (Enter) ボタンを押すたびに、アルファベットキーの大文字/小文字が切り替わり ます。
- [SYM1] / [SYM2] キーを選択して (Enter) ボタンを押すたびに、枠で囲った部分の記号キーが切り替 わります。

入力できる文字の種類は以下の通りです。

数字	0123456789
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	! # \$ % & ' () + / <=> ? @ ` ^ _ { } ~

- 「ネットワーク〕メニューの項目に、: を使用することはできません。
- 【ネットワーク】メニューの項目に、スペースを使用することはできません。

 【ネットワーク】メニューの項目に、スペースを使用することはできません。
 - 次の4文字はソフトキーボードで入力できません。Webブラウザーを使って入力してください。 **p.65** "* ,

情報メニュー

機能	説明
使用時間	累積使用時間を表示します。
入力ソース	現在投写中の機器を接続している入力ソース名を表示しています。
入力信号	[映像] メニューの [入力信号方式] の設定内容を入力ソースに応じて表示しています。
入力解像度	入力解像度を表示しています。
走查方式	走査方式を表示しています。

機能	説明
リフレッシュレート	リフレッシュレートを表示しています。
3D方式	3D映像投写時に入力されている信号の3D方式(フレームパッキング/サ イドバイサイド/トップアンドボトム)が表示されます。
同期情報	映像信号の情報を表示しています。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
Deep Color	Deep Colorを表示しています。
ビデオ信号方式	[設定] メニューの [ビデオ信号方式] の設定内容を表示しています。
ステータス	本機に発生した異常についての情報です。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
バージョン	本機のファームウェアのバージョンを表示します。

初期化メニュー

機能	説明
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [入力信号] - [Component]、[液晶アライメント]、[言語]、[メモリー 登録]、[レンズポジション登録]、[使用時間] は初期値に戻りません。
メモリー初期化	[メモリー登録] で登録した内容をすべて初期化(消去)します。
レンズポジション初期化	[レンズポジション登録] で登録した内容をすべて初期化(消去)します。

Picture in Picture設定メニュー

Picture in Picture投写中に Menu ボタンを押すと表示されます。

Picture in Picture終了

3D映像と4K映像信号入力時は設定できません。 -Line メニュー/設定値 機能 説明 Picture in 子画面サイズ 小、大 子画面の画面サイズを切り替えま Picture設定 す。 🖝 p.64 右上、右下、左上、左下 子画面位置 子画面の表示位置を切り替えま す。 🖝 p.64 親画面/子画面入替 親画面と子画面を切り替えます。 **p.64**

84

Picture in Picture表示を終了し

ます。 🖝 p.64

■ 故障かなと思ったら

インジケーターの見方

本機の状態は、オペレーションインジケーター、 ○、 ↓、 ★ の点灯や点滅で確認できます。



次の表でインジケーターの状態と対処方法を確認してください。

】異常/警告時のインジケーターの状態

		■ :点灯 単:点滅 ■ :状態維持 □ :消灯
インジケーター	状態	対処方法
	高温警告	このまま投写を続けられます。さらに高温になると 投写を自動的に停止します。
		 ・ 壁際に設置している場合は、壁と吸気口の間を 20cm以上あけてください。 ・ エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除 をしてください。
ひ ★ ↓ □ ↓ □ ↓ (青) / (オレンジ)	内部高温異常 (オーバーヒート)	 内部が高温になっています。 レーザーが自動的に消灯し投写できなくなります。ファンが停止したら、電源コードを抜きます。 壁際に設置している場合は、壁と吸気口の間を20cm以上あけてください。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。 ● p.96
		 電源を入れ直しても改善されない場合は、ご使用をやめ、電源コードを抜いてください。お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。

インジケーター	状態	対処方法
	内部異常	本体の故障です。 電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプ ソンの各修理センターに修理を依頼してください。 ● 『お問い合わせ先』
(青)/(オレンジ)		
	ファン異常 センサー異常 照度センサー異常	
(青)/(オレンジ)		
り ● ★↓ ● ↓ ↓ ↓ (青) / (オレンジ)	シネマフィルター異常 スタティックアイリス異常 レンズカバー異常	
ひ ★↓	レーザードライバー異常	
● ★↓ ↓ ↓ ↓	致命的異常	
り ● ★ ↓ ● □ (青) / (オレンジ)	レーザー異常 レーザー点灯失敗	 レーザー光源部に異常があるか、点灯に失敗しました。 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず[高地モード]を[オン]にしてください。 ● [設定] - [動作設定] - [高地モード] p.75 上記の対処をしても改善されない場合は、ご使用をやめ、電源コードを抜いてください。お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 ● 『お問い合わせ先』

正常動作時のインジケーターの状態

		▋:点灯 ↓ :点滅 □:消灯
インジケーター	状態	対処方法
မ မ	スタンバイ状態	リモコンの 🕕 ボタンまたは操作パネルの 🕛 ボタンを押 すと投写を開始します。
ひ ■ □ (青)	スタンバイ状態 ([待機モード] が [通信 オン])	リモコンの 🕕 ボタンまたは操作パネルの ⊍ ボタンを押 すと投写を開始します。
ڻ ا	ウォームアップ中	ウォームアップ中は電源を切る操作は無効になります。
(青)	クールダウン中	クールダウン中はすべての操作は無効になります。クー ルダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。万 ー、クールダウン中に電源コードを抜いたときは、本機 が十分に冷えてから再び電源コードを接続し、リモコン の ① ボタンまたは操作パネルの ⁽¹⁾ ボタンを押してくだ さい。
С С	投写中	通常動作中です。
(青)	スタンバイ状態 ([待機モード] が [通信 オン])	リモコンの 🕕 ボタンまたは操作パネルの 🕛 ボタンを押 すと投写を開始します。

• 正常動作時は 🛚 と 米 インジケーターは消灯しています。

 ● 正常動作時は ■ と ★ イノンソーン (6/15/10 C C 0.0.5)
 ● [イルミネーション] 機能が [オフ] の場合は正常な投写中にインジケーターがすべて消灯し ています。 [設定] - [動作設定] - [イルミネーション] p.75

L

インジケーターを確認してもわからないとき

現象の確認

下記の表のうち、どのトラブルに該当するかを確認し、参照先をご覧ください。

	現象	ページ
映像に関するトラブル	映像が表示されない	p.89
	投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど…	
	コンピューターで再生する動画が表示されない	p.89
	「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される	p.90
	「 映像信号が入力されていません。」 と表示される	p.90
	ぼやける、ピントが合わない	p.90
	ノイズが入る・乱れるなど…	p.91
	切れる(大きい)、小さい、映像の一部分しか投写されないなど…	p.91
	色合いが違う	p.91
	赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくす むなど… [※]	
	暗い	p.92
	自動的に投写が消える	p.92
	液晶アライメントの調整が正しくできない	p.92
投写開始時のトラブル	電源が入らない	p.93
リモコンでのトラブル	リモコンで操作できない	p.93
操作パネルのトラブル	本体パネルで操作できない	p.93
3D映像でのトラブル	3Dで正しく投写できない	p.94
	3D映像が引き伸ばされた状態で切れる	p.94
HDMIのトラブル	HDMIリンクで操作できない	p.94
	接続機器一覧に機器名が表示されない	p.95
※ コンピューターのモニタ	ターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、本機での投写映像とモ	ニターで

の表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。

映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
電源を入れましたか?	リモコンの ① ボタンまたは操作パネルの ^① ボタンを押し ます。
電源コードを接続していますか?	電源コードを接続してください。
インジケーターがすべて消灯していません か?	本機の電源コードを抜いて、接続し直します。 接続後、電源ボタンを押して電気が供給されているか確認 します。
映像信号は入力されていますか?	接続している機器の電源が入っているか確認します。環境 設定メニューの [メッセージ表示]を [オン] に設定する と映像信号に関するメッセージが表示されます。 ● [設 定] - [表示設定] - [メッセージ表示] p.75
AVアンプの電源が切れていませんか?	AVアンプを接続しているときは、AVアンプの電源も確認 してください。
機器から映像信号が送られていますか?	接続している機器から映像信号が送られていることを確認 してください。
映像の信号形式の設定は合っていますか?	Video入力時 環境設定メニューの [ビデオ信号方式] を [オート] に設 定していても投写できないときは、機器に合った信号方式 に設定します。 [設定] - [入力信号] - [ビデオ信号方 式] p.75
	Component入力時 環境設定メニューの [Component] を [オート] に設定し ていても投写できないときは、接続している機器の信号方 式に合わせて設定します。 ☞ [設定] - [入力信号] - [Component] p.75
環境設定メニューの設定が間違っていませ んか?	全初期化してみてください。 [初期化] - [全初期 化] p.84
(コンピューター映像信号投写時のみ) 接続の作業を、本機やコンピューターの電 源が入っている状態で行いましたか?	電源を入れた状態で接続すると、コンピューターの映像信 号を外部に切り替えるキー(ファンクションキーなど)が 使えないことがあります。接続しているコンピューターの 電源を入れ直してください。

動画が表示されない

確認	対処法
(コンピューター映像信号投写時のみ) コンピューターの映像信号が外部と液晶モ ニター両方同時に出力されるように設定さ れていませんか?	コンピューターの仕様により映像を外部と液晶モニターに 同時表示させると動画が表示されないことがあります。 映像信号が外部のみに出力されるように切り替えてください。 コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参 照してください。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか?	Video入力時 環境設定メニューの [ビデオ信号方式] を [オート] に設 定していても投写できないときは、機器に合った信号方式 に設定します。 [設定] - [入力信号] - [ビデオ信号方 式] p.75
	Component入力時 環境設定メニューの [Component] を [オート] に設定し ていても投写できないときは、接続している機器の信号方 式に合わせて設定します。 ☞ [設定] - [入力信号] - [Component] p.75
(コンピューター映像信号投写時のみ) 映像信号の周波数や解像度が対応するモー ドですか?	環境設定メニューの [入力解像度] で入力中の映像信号を 確認し、本機の解像度に対応しているか確認してください。 ☞ p.100

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか?	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認しま す。 ☞ p.20
接続した映像入力端子を正しく選択してい ますか?	リモコンの各入力ソースのボタンか操作パネルの Source ボ タンで映像を切り替えます。 の
接続している機器の電源は入っています か?	機器の電源を入れます。
(コンピューター映像信号投写時のみ) プロジェクターに映像信号が出力されてい ますか?	映像信号がコンピューターの液晶モニター以外(外部)に も出力されるように切り替えます。外部に映像信号を出力 すると、液晶モニターに表示されないモデルもあります。 コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参 照してください。
	本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続すると、 コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn(ファン クション)キーが使えないことがあります。本機およびコ ンピューターの電源を入れ直してください。

ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
フォーカス調整しましたか?	フォーカス調整を行います。 🖝 p.30
投写距離は最適ですか?	投写距離の推奨範囲を確認してください。 🖝 p.18
レンズが結露していませんか?	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房 したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけるこ とがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋 に設置してください。結露してしまったときは、本機の電 源を切り、電源コードを抜いてしばらく放置してください。

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか?	Video入力時 環境設定メニューの [ビデオ信号方式] を [オート] 設定 していても投写できないときは、機器に合った信号方式に 設定します。 [設定] - [入力信号] - [ビデオ信号方 式] p.75
	Component入力時 環境設定メニューの [Component] を [オート] に設定し ていても投写できないときは、接続している機器の信号方 式に合わせて設定します。 ← [設定] - [入力信号] - [Component] p.75
ケーブル類が正しく接続されていますか?	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☞ p.20
ケーブルを延長していませんか?	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。
(コンピューター映像信号投写時のみ) [同期]/ [トラッキング]は正しく調整さ れていますか?	本機は自動調整機能で最適な状態で投写します。ただし信 号によっては、自動調整を行っても正しく調整されないも のもあります。この場合は、環境設定メニューの[トラッ キング] / [同期] で調整します。 ● [映像] - [トラッキ ング] / [同期] p.72
(コンピューター映像信号投写時のみ) 解像度の選択は正しいですか?	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☞ p.100

映像の一部が切れる(大きい)、小さい

確認	対処法
[アスペクト] は正しく選択していますか?	Aspect ボタンを押して入力信号に合った [アスペクト]を 選択してください。 ● [映像] - [アスペクト] p.72
(コンピューター映像信号投写時のみ)	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。
解像度の選択は正しいですか?	✓ p.100

色合いが違う

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか?	Video入力時 環境設定メニューの [ビデオ信号方式] を [オート] 設定 していても投写できないときは、機器に合った信号方式に 設定します。 [設定] - [入力信号] - [ビデオ信号方 式] p.75
	Component入力時
	環境設定メニューの [Component] を [オート] に設定し ていても投写できないときは、接続している機器の信号方 式に合わせて設定します。 ● [設定] - [入力信号] - [Component] p.75

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか?	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☞ p.20
	Video、Component入力端子の場合は、コネクターと同じ色のケーブル端子を接続します。 🖝 p.21
コントラストは正しく調整されています か?	環境設定メニューの [コントラスト] を調整してください。 ☞ [画質] - [コントラスト] p.70
適切に色の調整がされていますか?	環境設定メニューの [アドバンスト]を調整してください。 ☞ [画質] - [アドバンスト] p.70
(映像機器の映像信号投写時のみ) 色の濃さ、色合いは正しく調整されていま すか?	環境設定メニューの [色の濃さ] / [色合い] を調整してく ださい。 ☞ [画質] - [色の濃さ] / [色合い] p.70

暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されています	環境設定メニューの [明るさ] を設定してください。
か?	☞ 【画質】 - [明るさ】 p.70
コントラストは正しく調整されています	環境設定メニューの [コントラスト] を調整してください。
か?	☞ 【画質】 - [コントラスト】 p.70

自動的に投写が消える

確認	対処法
[スリープモード] が働いていませんか?	信号が入力されていない状態が設定した時間続くと、レー ザーが自動的に消灯し、スタンバイ状態になります。リモ コンの ① ボタンまたは操作パネルの ② ボタンを押すと電 源が入ります。このとき、レンズをのぞかないでください。 [スリープモード]を働かせないときは設定を [オフ] にし ます。 ● [設定] - [動作設定] - [スリープモード] p.75

液晶アライメントの調整が正しくできない

確認	対処法
[設置モード] の設定が本機の設置状態と 合っていますか?	設置モードによって液晶アライメントの調整方法が異なり ます。[設置モード]の設定を、本機の設置状態に合った設 定にします。 [設定] - [設置モード] p.75
色や模様がある壁などに投写していません か?	色や模様がある壁などに投写すると、調整用に表示される 格子が正しく表示されません。スクリーンなど、白くて模 様のないものに投写します。
投写開始直後に調整していませんか?	安定した画質で調整するために、投写開始後しばらくたっ てから調整します。
投写画面のサイズが小さくないですか?	60型以上のサイズの画面で調整します。
色がマゼンタの場所を調整していますか?	マゼンタは赤と青の混色のため、[調整色]の[R](赤)と [B](青)の両方を調整します。

確認	対処法
パターンの線のピントが合っていなかった り、ぼやけていたりしていませんか?	フォーカス調整を行います。 🖝 p.30

投写開始時のトラブル

電源が入らない

確認	対処法
電源を入れましたか?	リモコンの ❶ ボタンまたは操作パネルの ⊍ ボタンを押します。
[チャイルドロック] を [オン] に設定し ていませんか?	環境設定メニューの [チャイルドロック] を [オン] に設 定している場合は、操作パネルの ⁽¹⁾ ボタンを約3秒間押し 続けるか、リモコンで操作します。 ● [設定] - [ロック 設定] - [チャイルドロック] p.75
電源コードを触ると、インジケーターが点 いたり消えたりしませんか?	本機の電源を切り、電源コードを抜いてから差し直します。 それでも直らないときは、ご使用をやめ、電源コードを抜 き、お買い上げの販売店またはプロジェクターインフォメ ーションセンターにご相談ください。 ☞ 『お問い合わせ先』

■ リモコンでのトラブル

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部をプロジェクターのリモ コン受光部に向けて操作していますか?	リモコン受光部に向かって操作してください。また、操作 可能範囲を確認してください。
プロジェクターから離れすぎていません か?	操作可能範囲を確認してください。 🖝 p.25
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い 光が当たっていませんか?	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置し てください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを 間違えてセットしていませんか?	新しい乾電池を正しい向きでセットします。 🖝 p.25

操作パネルのトラブル

本体パネルで操作できない

確認	対処法
[操作ボタンロック] を [オン] に設定し ていませんか?	環境設定メニューの [操作ボタンロック] を [オン] に設 定していると、 ⁽¹⁾ ボタン以外の操作パネルのボタンはすべ て無効になります。リモコンで操作します。 ● [設定] - [ロック設定] - [操作ボタンロック] p.75

■ 3D映像でのトラブル

3Dで正しく投写できない

確認	対処法
3Dメガネの電源が入っていますか?	3Dメガネの電源を入れてください。
3D映像が投写されていますか?	本機が2D映像を投写しているときや、本体側のエラーなど で3D映像を投写していないときは3Dメガネをかけても3D 映像を視聴できません。
入力映像が3Dに対応していますか?	入力映像が3Dに対応しているか確認してください。 テレビ放送の多くは、3Dフォーマットの識別信号が含まれ ていないため、手動で設定する必要があります。
[3D表示] を [オフ] に設定していません か?	環境設定メニューの [3D表示] を [オフ] に設定している と、3D入力信号で自動的に3D映像に切り替わりません。 ^{20/3D} ボタンを押してください。 ☞ [映像] - [3D設定] - [3D表示] p.72
正しい3D方式に設定していますか?	本機の3D方式は自動で選択されますが、3Dの効果が正し く表示されない場合は、環境設定メニューの[3D方式設 定]で選択してください。 ● [映像] - [3D設定] - [3D 方式設定] p.72
受信範囲で視聴していますか?	3Dメガネが本機と交信できる範囲を確認し、範囲内で視聴 してください。 ● p.41
ペアリングは正常にできていますか?	3Dメガネの取扱説明書を参照し、ペアリングを実施してく ださい。
電波干渉を引き起こす機器が周囲にありませんか?	他のBluetooth通信機器や無線LAN(IEEE802.11b/g)、電子レンジなどの周波数帯(2.4GHz)と同時に使用すると、電波干渉が発生し、映像が途切れたり接続ができないことがあります。本機をこれらの機器の近くで使用しないでください。

3D映像が引き伸ばされた状態で切れる

確認	対処法
3Dの映像フォーマットは合っています	3Dの映像フォーマットが合っていないと、映像が切れて表示されます。正しい3Dフォーマットに設定してください。
か?	● p.35

HDMIのトラブル

HDMIリンクで操作できない

確認	対処法
HDMI規格に準拠したケーブルを使用して	ハイスピードHDMIケーブル以外のケーブルでは動作しま
いますか?	せん。

確認	対処法
HDMI CEC規格に対応した機器を接続し ていますか?	接続機器にHDMI端子がついていてもHDMI CEC規格に対応していないと操作できません。接続機器の取扱説明書などを参照してください。 また、 ™™ ボタンを押し、 [接続機器一覧] で使用可能かどうか確認してください。 ← p.56
ケーブル類が正しく接続されていますか?	HDMIリンクを使うために必要なケーブル類が確実に接続 されているか確認します。
接続しているアンプやDVD/ブルーレイデ ィスクレコーダーなどの電源は入っていま すか?	それぞれの機器の電源をスタンバイ状態にします。接続機 器の取扱説明書などを参照してください。
新しく機器を接続したり、接続を変更しま したか?	新しく機器を接続したり接続を変更した後に操作できない ときは、接続機器のCEC機能を設定し直したり、再起動が 必要な場合があります。
プレイヤーを何台も接続していませんか?	HDMI CEC規格で、同時に接続できるプレイヤーは3台ま でです。

接続機器一覧に機器名が表示されない

確認	対処法	
接続機器がHDMI CEC規格に対応してい ますか?	接続機器がHDMI CEC規格に対応していないと表示されません。接続機器の取扱説明書などを参照してください。	



各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

⚠ 警告

本機のエアフィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。引火による火災の原因となります。

エアフィルターの掃除と交換

エアフィルターにホコリがたまっていたり、次のメッセージが表示されたときは、エアフィルターを掃除してください。

「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

注意

E

- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。定期的にエアフィルターを掃除することをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除をしてください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- 軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアフィルター内部に入り込み取れなくなります。

│使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。 │材質:PP



p.20

3 エアフィルターカバーを開きます。 エアフィルターカバーのタブに指をかけ、 手前に引いて開きます。

(2)



|本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

- ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料 がはげたりすることがあります。
- ・ 投写レンズには触らないでください。レンズの掃除をする場合は、お買い上げの販売店またはプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。

3Dメガネの掃除

メガネレンズの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。

注意

- メガネレンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこ すったり、乱暴に扱わないでください。
- お手入れのときは、USB充電AC電源アダプターをコン セントから抜き、すべてのケーブルを外したことを確認 してから行ってください。
- 3Dメガネには充電池が含まれています。廃棄するときは、地域の廃棄ルールに従ってください。



🖸 オプション・消耗品一覧

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション・消耗品類は2014年1月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション品

名称	型番	説明
RF方式3Dメガネ	ELPGS03	3Dの映像を楽しむときに購入してください。
USB充電AC電源アダプター	ELPAC01	3Dメガネを充電するときに使います。

消耗品

名称	型番	説明
エアフィルター	ELPAF39	使用済みのエアフィルターと交換します。(エア フィルター1枚)

🖸 対応解像度一覧

HDMI1/HDMI2入力信号

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度(ドット)
VGA	60	640 x 480
SDTV (480i)	60	720 x 480
SDTV (576i)	50	720 x 576
SDTV (480p)	60	720 x 480
SDTV (576p)	50	720 x 576
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV (1080p)	24/30/50/60	1920 x 1080
4K x 2K	24/25/30/50/60	3840 x 2160
	50/60	4096 x 2160
4K x 2K (SMPTE)	24	4096 x 2160

コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度(ドット)
SDTV (480i)	60	720 x 480
SDTV (576i)	50	720 x 576
SDTV (480p)	60	720 x 480
SDTV (576p)	50	720 x 576
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV (1080p)	50/60	1920 x 1080

コンポジットビデオ

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度(ドット)
TV (NTSC)	60	720 x 480
TV (SECAM)	50	720 x 576
TV (PAL)	50/60	720 x 576

コンピューター映像 (アナログRGB)

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度(ドット)
VGA	60/72/75/85	640 x 480
SVGA	56/60/72/75/85	800 x 600
XGA	60/70/75/85	1024 x 768
SXGA	70/75/85	1152 x 864
	60/75/85	1280 x 960
	60/75/85	1280 x 1024
WXGA	60	1280 x 768
	60	1366 x 768
	60/75/85	1280 x 800
WXGA++	60	1600 x 900

3D入力信号

信号	リフレッシ	解像度(ドット)	3Dフォーマット		
	ュレート (Hz)		フレームパッ キング	サイドバイサ イド	トップアンド ボトム
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720	1		1
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080	-		-
HDTV (1080p)	50/60	1920 x 1080	-		-
HDTV (1080p)	24	1920 x 1080			1

○ 輸送時のご注意

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送するときは、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

近くへの移動

本機の電源を切り、すべての配線を外したことを確認して、静かに移動してください。

注意

- •本機は重いので、1人で運ばないでください。開梱や移動のときは2人以上で運んでください。
- 本機を持ち上げるときは、操作パネルを閉じてください。
- 操作パネル部に無理な力を加えないでください。故障の原因となることがあります。

輸送する場合

■ 梱包の準備

上記の「近くへの移動」の確認点に加えて、上下左右のレンズ位置を中心に設定してからから梱包してください。 ● p.31

梱包と輸送の注意

運送業者(宅配業者他)にご相談のうえ、本機に衝撃が伝わらないように本機の周囲を保護し、堅固 なダンボール箱に入れ、精密機器であることを告げて輸送を依頼してください。

🖸 仕様一覧

商品名		EH-LS10000	
外形寸法(フット含まず)		550(幅) x 225(高さ) x 553(奥行き) mm	
パネルサイズ		0.74型ワイド	
表示方式		ポリシリコンTFTアクティブマトリクス	
画素数		横1920 x 縦1080 x 3	
フォーカス調整		電動	
ズーム調整		電動(約1:2.1)	
光源		レーザーダイオード、41.9 mW、反復率:0 - 100%	
電源		100 - 240 V AC±10%、50/60 Hz、4.6 - 2.1 A	
消費電力	100 - 120 Vエリア	定格消費電力:459 W	
		待機時消費電力:0.3 W ^{※1} 待機時消費電力:2.8 W ^{※2}	
	220 - 240 Vエリア	定格消費電力:442 W	
		待機時消費電力:0.4 W ^{※1} 待機時消費電力:3.3 W ^{※2}	
動作高度		標高0~3000 m	
動作温度範囲	Ē	+5~+35℃(結露しないこと)	
保存温度範囲	Ē	-10~+60℃(結露しないこと)	
質量		約18.0 kg	
接続端子		Component入力端子x1系統、3RCAピンジャック	
		PC入力端子x1系統、ミニD-sub 15pin(メス)青色	
		HDMI入力端子x2系統、HDMI HDCP対応 ^{※3} 、CEC信号対応、Deep Color	
		Video入力端子x1系統、RCAピンジャック	
		RS-232C端子x1系統、D-sub 9pin(オス)	
		Trigger out端子x2系統、3.5mmミニジャック	
		LAN端子x1系統、RJ-45	
		ミニUSB TypeB端子x1系統	

※1以下の設定をしている場合

[設定] - [待機モード] - [通信オフ] 🖝 p.75

※2以下の設定をしている場合

[設定] - [待機モード] - [通信オン] ● p.75 ※3 HDMI1端子はHDCP 2.2対応、HDMI2端子はHDCP 1.4対応。

傾斜角度

3°以上傾けて使用すると、故障や事故の原因となります。



<コンピューター側>

10101

9876

54321

0

ESC/VP21コマンド

ESC/VP21を使うと本機を外部機器から制御できます。詳細は以下のWebサイトにてご確認ください。 http://www.epson.jp

RS-232Cケーブル配線

RS232Cクロスケーブルをお使いください。

- コネクター形状:D-sub 9pin(オス)
- プロジェクター入力端子名:RS-232C
- 信号名:

信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ



<プロジェクター側>

GND 5 RD 2 TD 3 (PCシリアルケーブル) _____



0

通信プロトコル

ボーレート基準速度:9600 bps データ長:8 bit パリティ:なし ストップビット:1 bit フロー制御:なし

🖸 外形寸法図

単位:mm



- a レンズ中心
- b レンズ中心から天吊り固定部までの寸法
- c レンズ向き



🖸 用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明しま す。詳細については市販の書籍などを利用してください。

HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略で、DVIやHDMI端子を経由 して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術 です。本機のHDMI入力端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護さ れたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたとき は、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
НОМІтм	High Definition Multimedia Interfaceの略で、HD映像と、マルチチャンネル オーディオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。
	HDMI™はデジタル家電やコンピューターをターゲットにした規格であり、デジタ ル信号を圧縮せず高品質のまま転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用 されます。
	 ・ 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ走査、i はインターレース 走査) ・ 画面のアスペクトは16:9・ドルビーデジタル音声の受信、再生(あるいは出力)
NTSC	National Television Standards Committeeの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式は日本や北米、中南米で利用されています。
PAL	Phase Alternation by Lineの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の 一つ。この方式はフランス以外の西ヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸 国やアフリカなどで利用されています。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ 放送のことです。
SECAM	SEquential Couleur A Memoireの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方 式の一つ。 フランス、東ヨーロッパや旧ソ連、中東、アフリカなどで利用されて います。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドットx縦600ドットのものを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドットx縦1,024ドットのものを呼びます。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドットx縦480ドットのものを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドットx縦768ドットのものを呼びます。
YCbCr	SDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Cb、Crが色差を表します。
YPbPr	HDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Pb、Prが色差を表します。
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。横:縦の比率が16:9の、HDTVなどの画面を ワイド画面といいます。
	SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は、4:3です。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へひとつ飛ばしに伝送します。1フレームの 表示が1ラインおきとなるため、ちらつき(フリッカー)が出やすくなります。
ペアリング	Bluetooth機器で接続するとき、相互に通信できるよう、あらかじめ機器を登録することです。

🖸 一般のご注意

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの 点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または エプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更さ れたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など 機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステ ム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム 全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、 航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とさ れる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分 ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、 事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現 地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電 圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。
レーザー光源機器使用上の注意事項

本機は、レーザー国際規格 IEC60825-1 に適合したクラス2レーザー製品です。誤った取り扱いを すると、人が傷害を負う可能性があります。次のことに注意してください。

▲ 警告

- 本機に異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因だけでなく、視力障害の原因にもなります。
- 本機の分解・改造は絶対にしないでください。プロジェクター内部には高出力レーザー製品が組み 込まれています。重大なけがの原因となります。
- 投写中にレンズをのぞかないでください。また、光学機器(ルーペや望遠鏡など)を使用してレンズをのぞかないでください。視力障害の原因となります。
- 本機から離れた場所からリモコンで電源を入れる場合、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- 小さなお子様には操作させないでください。操作する可能性がある場合は、必ず保護者が同伴してください。
- 投写映像に対して、ルーペや反射鏡などの光学機器を当てないでください。そのまま使用し続けると、人体に悪影響を与える可能性があります。また、火災・事故の原因となることがあります。
- 投写映像を反射するものが周囲にないことを、投写前に確認してください。
- 本機を廃棄する場合は分解しないでください。国や地域の法律や条例に従って廃棄してください。

本機には、クラス2レーザー製品であることを示すラベルが貼られています。

ラベルの記載内容は次の通りです。

- 不可視レーザー放射
- 光学機器で直接ビームを見ないこと
- クラス2レーザー製品
- パルス幅

貼られている場所は次の通りです。



■ レーザー光路図



レンズシフト機能により、投写レンズから照射されるレーザー光は次の範囲で照射されます。

レーザー光の投写角度は次の通りです。

レンズシフトを上または下に最大にした場合:レンズ中心から32°

レンズシフトを右または左に最大にした場合:レンズ中心から34°

3Dメガネ使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、 免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を 変えるか、または機器の運用を停止してください。その他何かお困りのことが起きたときはインフ ォメーションセンターまでお問い合わせください。

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。



商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」、「ELPLP」は セイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標、または登録商標で す。 **HDMI**

THXおよびTHX 3Dロゴはいくつかの法域で登録可能なTHX社の商標です。

Full HD 3D Glasses™ロゴとFull HD 3D Glasses™はFull HD 3D Glasses Initiative™の商標です。

AdobeおよびAdobe RGBはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の登録商標です。 InstaPrevueおよびInstaPrevueロゴは、Silicon Image, Inc.の商標または登録商標です。

Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc.の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。 ©SEIKO EPSON CORPORATION 2013. All rights reserved.

数字・アルファベット

2D-3D変換 3D映像 3D奥行き調整 3D設定 3D表示 3D方式	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	72 38 72 72 72 84
3D方式設定 3Dメガネ		72 30
3Dメガネ左右反転	· · · · · · · · · · · ·	72
3Dメガネの掃除		98
AMX Device Discovery		82
Bonjour		82
CEC規格		56
Component		/8
		84
EDSON Super White		01 71
	21	22
HDMI2入力端子	21	22
HDMI端子	· ,	56
HDMIリンク	56,	75
HDMIビデオレベル		74
IPアドレス		81
IPアドレス表示		81
P設定		81
LAN编子		23
PU人刀峏于	 CO	22
Picture in Picture波上	63,	04 07
	•••••	81
RGR		71
RGBCMY	48	źi
RGBの調整	,	50
SMTPサーバー		82
Super-resolution/4K	44,	73
Web Remote		67
Web制御		65
Web制御バスワード		81
Webブラウザー		65

ア

明るさ	70
明るさ切替	71
アスペクト 33,	72
宛先設定	82
アドバンスト 71,	73
異常/警告インジケーター	85
イルミネーション	77
色合い	70
色温度	70
色の濃さ	70

インジケーター	85
動き検出	73
エアフィルターカバー	96
エアフィルターの掃除	96
エアフィルター	96
エアフィルターの交換	96
映像機器との接続	21
映像サイズ	72
映像処理	74
映像メニュー	72
液晶アライメント	78
オーバースキャン	74
オフセット 50,	71
親画面/子画面入替	84

カ

시 판구국	1	
外形 1 広	I	00
回貿		43
画質メニュー		70
型番表示モード		78
値き調整		29
カラーガマット	55	71
カラ <u>ー</u> モード	00, ⊿२	
	40, NO	70
	∠0, 40	70
	49,	/
基本設定メニュー		81
ゲイン	50,	71
ゲートウェイアドレス		81
ケーブルカバー		20
ケーブルクランプ		24
ノーノルノノノノノ 一 語	•••••	78
口 ····································	•••••	70
高地七一ト ス末てた男		//
子回面位置		84
子画面サイズ		84
コントラスト		70
コンピューターとの接続		22
		21

サ

彩度	Z	18,	71
サブネットマスク			81
サブメニュー			28
色相	Ζ	18,	71
視聴注意の表示			72
視聴範囲			41
自動調整			73
シャープネス	. 5	51,	70
仕様一覧		. 1	03
情報メニュー			83
初期化	, 7	78,	79
初期化メニュー	È	33,	84
シリアル番号			84

ズーム	33
ズーム調整	31
スタートアップスクリーン	78
スタンバイ確認	78
ステータス	84
スリープモード	77
接続	20
接続機器一覧	75
設置モード	76
設定完了メニュー 80,	83
設定メニュー	75
セットアップレベル	73
全初期化	84
操作パネル 7,	11
操作範囲	25
走查方式	83
操作ボタンロック	75
その他メニュー	82
ソフトキーボード	83

タ

対応解像度	1	00
台形補正	32,	75
台形ゆがみ		32
ダイナミックコントラスト		46
ダイレクトパワーオン		77
チャイルドロック		75
調整開始		78
調整色		78
ディテール強調	46	73
テストパターン表示	10,	29
雷源	26	27
電源オフ連動	LO,	75
電源オン連動		75
电 () ノ () () () () () () () () (70
问册		01
	•••••	04
到门Fi 又上	•••••	//
投与距離	•••••	18
投与サイス		18
投与サイズの調整		31
トップメニュー		28
トラッキング		72
トリガーアウト1		77
トリガーアウト2		77

ナ

入力解像度	83
入力信号 78,	83
入力ソース 32,	83
ネットワーク情報	80
ネットワークメニュー	80
ノイズ	91

Л

バージョン	84
" "	78
	78
ハノ ノビ	70
	70
ビテオ信号力式	84
ヒデオ人力端子	21
表示位置	72
表示設定	78
ピント	90
ピント調整	30
フォーカス調整	30
	33
フレーム補問 イフ	73
フレーム旧向 -7 , プロガレッシュブ亦協	70
プロプレックノ友侠	
	81
ペアリンク	40
ポート番号	82
本体の掃除	98

マ

明度	48,	71
メール通知機能	69,	82
メールメニュー		82
メッセージ表示		78
メニュー		70
メニューカラー		78
メニュー表示位置		78
メモリー機能		60
メモリー削除	61.	79
メモリー初期化	61.	84
メモリー登録	60.	79
メモリー名称変更	61.	79
メモリーメニュー	,	79
メモリー呼出	61,	79

ヤ

ユーザーボタン	76
有線LANメニュー	81

ラ

リフレッシュレート		84
リモコン	13,	25
レンズアイリス	52,	71
レンズシフト		31
レンズポジション機能		58
レンズポジション削除!	59,	79
レンズポジション初期化!	59,	84
レンズポジション登録!	58,	79

レンズポジション名称変更	59,	79
レンズポジション呼出	58,	79
ロック設定		75